

平成30年度

教養教育履修案内

【平成28年以前入学者用】

<注意>

休講・補講情報のメール配信サービスは平成29年3月をもって終了しました。今後は、各学部の掲示板および学生情報システム（QRコード）を毎日必ず確認するようにしてください。



学生情報システム
<https://siss.jmk.ynu.ac.jp/>

横浜国立大学
高大接続・全学教育推進センター

平成30年度（2018年度）学事暦 <履修案内用>

学期・ターム・月			日	月	火	水	木	金	土	
春学期	第1ターム	4月	1	2	3	4	5	6	7	4/3（火）入学式
			8	9	10	11	12	13	14	4/4（水）英語プレースメントテスト（1年生のみ）
			15	16	17	18	19	20	21	4/6（金）～8/3（金）春学期（セメスター科目）
			22	23	24	25	26	27	28	4/6（金）～6/7（木）春学期前半（第1ターム科目）
			29	30						4/6（金）～4/20（金）履修登録期間（土日除く）
	5月				1	2	3	4	5	5/1（火）～5/2（水）は授業を行わない
			6	7	8	9	10	11	12	5/7（月）～5/9（水）履修登録確認・訂正期間
			13	14	15	16	17	18	19	5/14（月）～5/18（金）履修登録キャンセル期間
			20	21	22	23	24	25	26	5/19（土）～5/20（日）清陵祭（5/19（土）は準備を含む）
			27	28	29	30	31			
	第2ターム	6月						1	2	6/1（金）～6/7（木）第1ターム試験期間 （セメスター科目は通常授業）
			3	4	5	6	7	8	9	6/8（金）～8/3（金）春学期後半（第2ターム科目）
			10	11	12	13	14	15	16	6/25（月）～6/29（金）履修登録キャンセル期間 （第2ターム科目）
			17	18	19	20	21	22	23	
		7月	24	25	26	27	28	29	30	
			1	2	3	4	5	6	7	7/16（月）は授業を行う（祝休日開講日）
			8	9	10	11	12	13	14	
			15	16	17	18	19	20	21	7/27（金）～8/3（金）春学期・第2ターム試験期間 （8/3（金）は試験の予備日）
			22	23	24	25	26	27	28	
			29	30	31					
	第3ターム	8月				1	2	3	4	8/4（土）～9/30（日）夏季休業期間（第3ターム）
			5	6	7	8	9	10	11	
			12	13	14	15	16	17	18	
			19	20	21	22	23	24	25	
		9月	26	27	28	29	30	31		
									1	
			2	3	4	5	6	7	8	
			9	10	11	12	13	14	15	
秋学期	第4ターム	10月	16	17	18	19	20	21	22	
			23	24	25	26	27	28	29	
			30							
		11月								
			1	2	3	4	5	6	7	
			8	9	10	11	12	13	14	
			15	16	17	18	19	20	21	
			22	23	24	25	26	27	28	
			29	30						
	第5ターム	12月							1	10/3（水）秋季入学式（予定）
			2	3	4	5	6	7	8	10/5（金）～2/12（火）秋学期（セメスター科目）
			9	10	11	12	13	14	15	10/5（金）～11/30（金）秋学期前半（第4ターム科目）
			16	17	18	19	20	21	22	10/5（金）～10/19（金）履修登録期間（土日除く）
			23	24	25	26	27	28	29	10/8（月）は授業を行う（祝休日開講日）
		1月	30	31						10/24（水）～10/26（金）履修登録確認・訂正期間
					1	2	3	4	5	11/2（金）～11/4（日）常盤祭（11/2（金）は準備を含む）
			6	7	8	9	10	11	12	11/5（月）～11/9（金）履修登録キャンセル期間
			13	14	15	16	17	18	19	11/10（土）～11/11（日）大学入学共通テスト・プレテスト
			20	21	22	23	24	25	26	11/23（祝）は授業を行う（祝休日開講日）
	第6ターム	2月	27	28	29	30	31			11/26（月）～11/30（金）第4ターム試験期間 （セメスター科目は通常授業）
								1	2	12/3（月）～2/12（火）秋学期後半（第5ターム科目）
			3	4	5	6	7	8	9	12/17（月）～12/21（金）履修登録キャンセル期間 （第5ターム科目）
			10	11	12	13	14	15	16	12/25（火）は月曜日の授業を行う（授業振替日）
	3月		17	18	19	20	21	22	23	12/26（水）～1/3（木）冬季休業期間
			24	25	26	27	28			1/18（金）～1/20（日）大学入試センター試験休業日 （1/19及び1/20は大学構内入構不可）
								1	2	2/4（月）～2/12（火）秋学期・第5ターム試験期間 （2/12（火）は試験の予備日）
			3	4	5	6	7	8	9	2/13（水）英語統一テスト（英語LR）試験日
			10	11	12	13	14	15	16	2/14（木）～3/31（日）春季休業期間（第6ターム）
			17	18	19	20	21	22	23	2/25（月）前期日程試験（大学構内入構規制）
			24	25	26	27	28	29	30	3/12（火）後期日程試験（大学構内入構規制）
			31							3/26（火）卒業式・修了式（予定）

28

試験期間

29

試験期間（予備日）

英語統一テスト・プレースメントテスト

授業振替日

祝休日開講日

本学では英語自習システムとして、“ATR CALL BRIX”を導入しています！！

本学では、特にグローバル人材育成に力を入れています。

その一環として、まずは海外の大学等に留学できる目安となる **TOEFL ITP500 点以上**の英語力を身につけてもらうことを、入学された皆さんに期待します！！
また、1 年次に多くの方が履修する科目「英語 LR」の単位取得に当たっては、成績評価の対象となる英語統一テストにおいて、430 点以上の取得が義務付けられています。

今から始めよう。
英語の翼を手に入れて、自由な世界へ。

英語を母国語とするネイティブ講師(外国人講師)が担当します。また、日本人サポーターが上達に合わせて学習をサポート。楽しみながら英語を身につけます。

1. 学務情報システムへログインする
2. ログイン後、トップページ内にあるリンク『ネットラーニング』をクリックする
3. ATR CALL BRIX 本体のログインページにおいても情報基盤センターのユーザ ID・パスワードでログイン

※また、学外からのアクセスも、情報基盤センターホームページを経由すれば可能です。

利用方法

無料です！！
是非ご利用下さい。

◆学務情報システム

https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu_portal/login.aspx

◆情報基盤センターホームページ

<http://www.itsc.ynu.ac.jp/service/service.html>

◆簡易マニュアル

<http://jen1.yec.ynu.ac.jp/students/documents/general/12-41806.9256828704.pdf>

今から始めよう。英語の翼で自由な世界へ。

●その他

主にショートビジット(SV)プログラムや留学先の現地語を自学自習してもらう目的で、本学では“Rosetta Stone”のライセンスも保有しています。こちらの案内については、別途各学部掲示板でご確認ください。



問い合わせ先

学生センター2階 教育企画課全学教育係(CAMPUS MAP S5-①)

○目次

I. はじめに	2
1. 教養教育履修案内について	2
2. 授業科目 WEB シラバスについて	2
3. 掲示板確認の励行について	2
II. 教養教育科目とは	3
1. 横浜国立大学の教育目標について	3
2. 教養教育科目の目的について	3
3. 教養教育科目の編成について	4
III. 全学教育システムの仕組み	6
1. 学期と授業時間	6
2. 教養教育科目の履修の流れ	8
3. 教養教育科目の履修手続き	10
IV. 教養教育科目の履修方法	11
1. 教養教育科目履修基準について	11
2. 教養教育科目の履修方法の一般的注意について	11
3. 教養コア科目の履修について	11
4. 情報リテラシー科目の履修について	19
5. 基礎演習科目の履修について	20
6. 授業科目名称変更等に伴う重複履修の禁止科目について	21
7. 読替科目に伴う重複履修の禁止科目について	23
8. 外国語科目の履修について	24
9. 健康スポーツ科目の履修について	31
10. 留学生のための授業科目について	33
V. 教養教育科目の単位の認定	35
1. 定期試験について	35
2. 定期試験の受験上の注意について	35
3. 追試験について	36
4. 授業科目の成績評価について	37
VI. 学外や海外における授業科目の履修等	40
1. 修得単位の認定について	40
2. 放送大学・横浜市内大学間単位互換制度の履修について	40
3. 派遣留学先の授業科目の認定について	40
VII. YNU 学生ポートフォリオについて	41

I. はじめに

1. 教養教育履修案内について

横浜国立大学は、平成 29 年度から都市科学部新設を含む学部教育改革と連動して全学教育システム改革を実施し、教養教育科目は全学教育科目に名称が変更になりましたが、その適用は平成 29 年度入学者からとなります。

平成 28 年度以前の入学者は、当該入学した年度の履修基準が卒業まで変更なく、教養教育科目として適用されますので、入学時に配付された「教養教育履修案内」とともに、所属学部の履修案内（履修手引）により教養教育科目の履修基準（卒業に必要な修得すべき単位数）等を確認の上、履修計画を立ててください。

この冊子は、平成 28 年度以前の入学者が教養教育科目として授業を履修するにあたり、必要な情報を記載しています。不明な点や疑問があれば、独自に解釈せず、所属学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

2. 授業科目 WEB シラバスについて

平成 29 年度から教養教育科目（教養コア科目）が全学教育科目（基礎科目）に移行されました。これら授業科目の履修主体が 1～2 年次であるため、授業科目 WEB シラバスは、平成 29 年度以降の入学者が理解しやすいよう表示されています。

平成 28 年度以前の入学者は、この冊子による「授業科目」を参照し、授業科目 WEB シラバスで履修希望科目を検索して授業概要（授業計画、履修目標・到達目標、成績評価の方法と基準、教科書・参考書等）を確認することになります。

WEB シラバスは「横浜国立大学ホームページ」→「学生生活」→「学務情報システム」(<https://risyu.jmk.ynu.ac.jp/gakumu/>) →「シラバス検索」で確認してください。

3. 掲示板確認の励行について

休講・補講情報のメール配信サービスは、平成 29 年 3 月をもって終了いたしました。今後は、教養教育科目に関する学生への連絡は、「各学部の掲示板」および「学生情報システム」の掲示機能により行いますので、毎日必ず確認するようにしてください。

この履修案内に変更が生じた場合も同様であり、掲示板の見落としにより、授業のオリエンテーションを欠席したり、休講や教室変更の情報が得られなかったり、レポートの提出期限に遅れたりなど不利益を生じることがあります。大学生活において、学生自身の行動に責任を負うことが大学生として最低限のルールであり、学生自身の不注意により生じた不利益は自己の責任となります。

毎日の日課として、「横浜国立大学ホームページ」→「学生生活」→「学生情報システム」(<https://siss.jmk.ynu.ac.jp/>) で休講情報や連絡事項の確認を励行してください。

Ⅱ. 教養教育科目とは

1. 横浜国立大学の教育目標について

本学は、専門性を基礎としつつ調和のとれた教育体系のもと、主体性と倫理性を養う豊かな教養教育を行い、少人数教育と実践的教育の伝統的な強みを活かしてグローバル新時代に求められる多様な視点を有する広い専門性を持った実践的人材を育成します。

特に、アジア等から多くの留学生が学び、留学生比率が高いという本学の特色をさらに強化し、国際性が豊かで、共生社会の構築に貢献する教育拠点を目指しています。

2. 教養教育科目の目的について

本学の教養教育は、実践性、先進性、開放性、国際性の4つの精神の下、次の4つの目標の実現を目指します。

1. さまざまな学問を主体的に学び、幅広い教養を身に付け、専門分野に必要な基礎学力を修得する。
2. 現代社会が直面する諸課題を論理的・批判的・創造的に考える力を養う。
3. 国際感覚を養い、異文化への理解を深め、コミュニケーション力を高める。
4. 人としてあるべき姿を自覚した倫理観と社会を構成する者としての責任感を育む。

本学ではこれらの目的を実現するために教養教育科目の構成において、そしてそれぞれの授業において、様々な方法を取り入れています。ここでは上記の目的を実現するための施策に関する重要な「柱」について説明します。

(1) 幅広い教養の養成

＜多様な科目の設置＞教養教育の核となる教養コア科目を3つの科目群に分類するとともに履修の自由度を高め、学生が主体的に深く学習できるよう豊富な授業科目を設置しています。

(2) 問題解決のための多角的・総合的な視野の養成

＜相互関連性＞複数の授業科目を有機的に関連づけて、広い知識と多様な視点を与えることを重視しています。

＜総合科目の設置＞複数の学問領域にわたる授業科目（総合科目）を設置することによって、総合的な思考法を身につける機会を与えています。

(3) 専門科目との連携

＜くさび形教育の実施＞教養教育科目の受講を低学年に限定せず、専門科目の履修に合わせた教育を行います。

＜基礎演習科目の設置＞基礎・基本を重視しながらも、専門教育との有機的連携を図るため、低学年次向けの双方向・対話型の少人数教育の機会も提供する基礎演習科目を開講しています。

(4) 外国語教育の充実

＜少人数クラス制の推進＞効果的な外国語学習を行うため、少人数クラス編成を推進しています。

＜習熟度別クラス編成＞外国語能力を高めるために客観的な成績評価に基づいて習熟度別クラス編成を行い、個々の学生の習熟度に応じた外国語教育を行うことによって語学能力の効率的な向上を目指しています。

＜国際理解力＞国際感覚を養い、異文化理解を深め、国際的・学術的コミュニケーション能力の向上を目指しています。

3. 教養教育科目の編成について

本学で開講されている授業科目は、教養教育科目、専門教育科目及び国際交流科目に区分されています。

教養教育科目は、教養コア科目、情報リテラシー科目、基礎演習科目、外国語科目及び健康スポーツ科目で構成され、専門教育科目は専門基礎科目及び専門科目で構成されています。

(1) 教養コア科目

教養教育科目の中心となる科目群である教養コア科目は、基礎学力、論理的思考力、情報処理能力、問題解決能力などを育成することを目指しています。

教養コア科目は次の3つの科目群から構成されています。

＜基礎科目＞人文社会系と自然科学系の各分野における基礎的な学力や技能を養う科目です。他の教養コア科目の基礎として位置付けられています。

＜現代科目＞社会との関連や現代の課題など、共通性の高い、広い教養を培うにふさわしい科目です。基礎科目の発展形として位置付けられています。

＜総合科目＞共通のテーマを異なる専門の複数の教員が担当する科目であり、多角的・総合的なアプローチを修得させることを目的としています。

(2) 情報リテラシー科目

情報化社会において必要不可欠な情報技術の利活用の方法を習得する科目です。コンピュータや特定のソフトウェアの使用法のみならず、情報機器とそれらの利用技術、及び倫理、法、マナーといった領域までをカバーし、情報化社会に生きる現代人としての最低限の教養の養成を目的とします。

(3) 基礎演習科目

基礎演習科目は大学での勉学の基礎となる知的思考能力を培うとともに、各学部、学科、課程の専門分野への橋渡しとなる授業です。それはそれぞれの専門分野への関心を高め、基礎的な問題解決能力を養うことを目的としています。それぞれの学部、学科、課程のカリキュラムに基づいて実施されており、専門性を念頭においた授業が行われています。

(4) 外国語科目

少人数クラス編成で、かつ客観的な成績評価に基づいた習熟度別クラス編成を行うことによって、各学生の到達度に応じた効果的な外国語教育を目指しています。また、外国語科目を「実習」と「演習」に複線化し、学生の多様な関心や意欲に応えることを目指しています。

(5) 健康スポーツ科目

健康スポーツ科目はスポーツに親しむことを通じ、一生を通じての心身の健康への関心を高め、心身のバランスのとれた学生を育成することを目標としています。

(6) 教養教育科目と全学教育科目の関係表

<平成 28 年度以前の入学者>

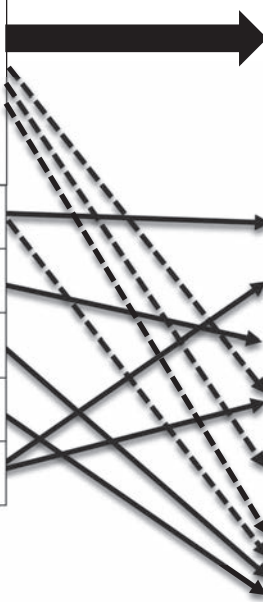
教養教育科目

基礎科目（人文社会系）	教養 コア 科目
基礎科目（自然科学系）	
現代科目	
総合科目	
外国語科目（英語・初修）	
健康スポーツ科目	
情報リテラシー科目	
基礎演習科目	
日本語・日本事情科目（留学生）	

<平成 29 年度以降の入学者>

全学教育科目

基礎 科目	人文社会系科目
	自然科学系科目
	放送大学科目（特別聴講学生）
外国 語 科 目	英語科目
	初修外国語科目
	日本語科目（留学生）
	健康スポーツ科目
	グローバル教育科目
	イノベーション教育科目
学部教育科目<H29 年度>	



Ⅲ. 全学教育システムの仕組み

1. 学期と授業時間

(1) 2学期6ターム併用制について

平成 29 年度の学事暦から、2 学期 6 ターム併用制を採用し、授業科目はセメスター科目（学期科目）とターム科目となります。

セメスター科目は、1 年間で春学期と秋学期の 2 つの学期に分け、休業期間を除く 16 週の授業期間で完結する科目設定です。

ターム科目は、1 年間で 6 つのタームに分け、春学期授業期間（第 1・第 2 ターム）、秋学期授業期間（第 4・第 5 ターム）で開講し、講義科目の 1 単位は 1 ターム 8 週（2 単位の場合は 1 ターム週 2 回 8 週）の授業期間で完結する科目です。

また、夏季休業期間（第 3 ターム）、春季休業期間（第 6 ターム）には、ターム科目の集中講義を開講する場合があります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期						秋学期					
春セメスター科目				夏季休業期間		秋セメスター科目			休	春季休業期間	
第1ターム科目		第2ターム科目		第3ターム科目		第4ターム科目		第5ターム科目		第6ターム科目	

(2) 教養教育科目の授業科目について

教養教育科目の授業科目は、基本的にセメスター科目で開講され、春学期または秋学期に 16 週の授業期間で実施します。

ただし、理工学部・都市科学部が開講する教養教育科目（教養コア）の一部は、ターム科目 1 単位で開講されます。第 1・第 2 ターム（春学期）または第 4・第 5 ターム（秋学期）連続 16 週の授業期間で実施され、実質的にはセメスター科目と同様の授業期間となります。

例えば、生物の世界Ⅰ（第 1 ターム 1 単位）、生物の世界Ⅱ（第 2 ターム 1 単位）は 2 科目セット履修を奨励しますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

(3) 学事暦について

学事暦（前づけ）は、1 年間の行事予定（入学式、定期試験や大学祭等）を次の記号で表示します。

白枠（黒字） 授業を開講する日です。

灰枠（黒字） 授業を開講しない日です。

太枠 祝日において授業を開講する日です。

○枠 英語統一テストの実施日で 1 年生は原則として受講します。

黒枠（白字） 定期試験期間です。なお、セメスター科目の場合、春学期前半（第 1 ターム）と秋学期前半（第 4 ターム）の試験期間は、通常どおり授業を行います。

灰枠（白字） 定期試験期間の予備日です。なお、ターム科目の春学期前半（第 1 ターム）と秋学期前半（第 4 ターム）の試験の予備日は、あらかじめ設定されていないので、開講部局において別に定めます。

◇枠 授業振替日です。平成 30 年 12 月 25 日（火）は月曜日の授業を実施します。

(4) 授業時間について

本学の授業時間は、以下のとおりです。

時 限	授業時間	備 考
第1時限	8 : 50 ~ 10 : 20	
第2時限	10 : 30 ~ 12 : 00	
第3時限	13 : 00 ~ 14 : 30	
第4時限	14 : 40 ~ 16 : 10	
第5時限	16 : 15 ~ 17 : 45	
第6時限	17 : 50 ~ 19 : 20	
第7時限	19 : 25 ~ 20 : 55	

Q : ターム科目をあまり見かけないのですが？

A : 2 学期 6 ターム併用制は、平成 29 年度から導入し、ターム科目は都市科学部を中心に開講しています。したがって、現時点では都市科学部以外の学部では、あまり見かけない開講方法ですが、今後少しずつ開講されていく予定です。

Q : 2 科目セット履修したターム科目「生物の世界Ⅰ・Ⅱ」の第1ターム開講科目の単位は修得し、第2ターム開講科目の単位は落としましたが、どうすればいいですか？

A : 教養教育科目のほとんどがセメスター科目（16 週）ですが、ターム科目（8 週）が一部存在します。教養教育科目のターム科目は「Ⅰ・Ⅱ」と2ターム連続して開講されるため、2 科目セット履修を奨励していますが、単位認定は各々の授業科目ごとに行われます。

したがって、「不可」となった第2ターム開講科目のみを翌年度以降に再履修するか、履修を放棄するかになります。ただし、履修を放棄する場合は、GPA の計算上不利になるので注意してください。

また、教職課程の「教科に関する科目」の場合は、2 科目セット履修が義務付けられる場合がありますので、必ず確認してください。

2. 教養教育科目の履修の流れ

教養教育科目の授業開始・履修登録から定期試験までの流れは、次のとおりです。

①授業開始日

春学期	春セメスター／第1ターム	： 平成30年 4月 6日（金）～
	第2ターム	： 6月 8日（金）～
	第3ターム（夏季休業期間）	： 8月 4日（土）～
秋学期	秋セメスター／第4ターム	： 平成30年10月 5日（金）～
	第5ターム	： 12月 3日（月）～
	第6ターム（春季休業期間）	： 平成31年 2月14日（木）～

②履修登録期間

春学期	春セメスター／第1・第2・第3ターム 平成30年 4月 6日（金）～ 4月20日（金）土日は除く
秋学期	秋セメスター／第4・第5・第6ターム 平成30年10月 5日（金）～10月19日（金）土日は除く

※履修希望学生が履修定員を上回る科目は授業開始第1週目または第2週目に「受講調整」を実施する。

※第3ターム（夏季休業期間）、第6ターム（春季休業期間）の別に定める授業科目がある。

③履修確認・訂正期間

春学期	春セメスター／第1・第2・第3ターム 平成30年 5月 7日（月）～ 5月 9日（水）
秋学期	秋セメスター／第4・第5・第6ターム 平成30年10月24日（水）～10月26日（金）

④履修登録キャンセル期間

春学期	春セメスター／第1ターム 平成30年 5月14日（月）～ 5月18日（金） 第2ターム＜キャンセル手続きは別に定める＞ 平成30年 6月25日（月）～ 6月29日（金）
秋学期	秋セメスター／第4ターム 平成30年11月 5日（月）～11月 9日（金） 第5ターム＜キャンセル手続きは別に定める＞ 平成30年12月17日（月）～12月21日（金）

※第3ターム（夏季休業期間）、第6ターム（春季休業期間）は別に定める。

⑤定期試験期間

春学期	第1ターム 平成30年 6月 1日（金）～ 6月 7日（木） 春セメスター／第2ターム 平成30年 7月27日（金）～ 8月 3日（金）
秋学期	第4ターム 平成30年11月26日（月）～11月30日（金） 秋セメスター／第5ターム 平成31年 2月 4日（月）～ 2月12日（火）

※第3ターム（夏季休業期間）、第6ターム（春季休業期間）は別に定める。

（1）履修登録・履修登録期間について

履修登録とは、その学期（セメスター科目・ターム科目）に履修しようとする授業科目を登録する手続きをいいます。

履修登録は、春学期と秋学期の各学期に分けて行います。また、ターム科目の履修も同様に学期ごに行い、例えば第1ターム、第2ターム、第3タームに履修する授業科目は春学期履修登録期間に科目登

録を行います。

学期	履修登録対象科目
春学期	通年科目、春セメスター科目、第 1 ターム・第 2 ターム・第 3 タームに開講する科目
秋学期	秋セメスター科目、第 4 ターム・第 5 ターム・第 6 タームに開講する科目

履修登録は、学部指定のパソコン教室や自宅等から Web 上の「学務情報システム」にログインし、「履修登録期間」内に必ず手続きを終える必要があります。

なお、学務情報システムの操作方法は「学生便覧」を参照してください。

(2) 履修確認・訂正期間について

履修確認・訂正期間には、履修時間割表を各自で印刷し、各自の履修計画どおりに履修登録されているか確認を行います。

履修確認の結果、履修計画どおり登録できなかったり、受講調整による履修不許可であったり、エラー科目があったりする場合は、訂正期間内に訂正を行います。

(3) 履修登録キャンセル期間について

履修確認・訂正期間の後に、授業内容が学生自身の予想や理解と異なっていた理由等により当該科目の履修を取りやめたい場合は、「履修登録キャンセル期間」内に学務情報システムで手続きを行います。ただし、第 2 ターム科目と第 5 ターム科目は学務情報システムで履修登録キャンセルができませんので、別に掲示板で連絡します。

履修登録のキャンセル手続きを行わずに履修を取りやめた場合は、その科目の成績は「不可」として取り扱われ、GPA の計算上不利になるので注意してください。

なお、第 3 ターム（夏季休業期間）と第 6 ターム（春季休業期間）における集中科目等の履修登録キャンセル期間は、別に設けられている場合がありますので、所属学部の学務担当窓口で確認してください。

(4) 補講の実施について

教養教育科目では、台風等気象警報の発令等による休講により生じた授業内容の不足分を補うため、科目担当教員の判断により授業開講日以外に補講を実施することがあります。補講の実施日及び時限等については、別に掲示板等で連絡します。

(5) 定期試験について

教養教育科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

試験は、原則としてセメスター科目、ターム科目ごとに定期試験期間を定めていますが、科目担当教員の判断により定期試験期間以外に行うことがあります。

3. 教養教育科目の履修手続き

教養教育科目の履修には、履修登録を行う必要があります。

履修登録の方法及び日程については、この履修案内のほか、所属学部のオリエンテーションまたは掲示板により連絡します。

(1) 履修登録の上限

教養教育科目の履修登録は、春セメスター（第1ターム及び第2タームの合計）20単位、秋セメスター（第4ターム及び第5タームの合計）20単位が上限です。この上限を超えて履修登録はできません。また、総合科目については、春セメスター、秋セメスターともに2単位ずつのみ受講できます。

ただし、英語で行われる授業科目にあっては、学部によっては履修登録の上限緩和が認められている場合があります。所属学部の学務担当窓口で確認してください。

この履修登録の上限には、夏季休業期間（第3ターム）及び春季休業期間（第6ターム）に開講する集中講義、別に掲示する集中・不定期開講科目は含まれません。

(2) 受講調整

教養教育科目は、適正な授業運営や教育効果の向上、教室の収容能力により各授業科目に履修定員が設定され、履修学生数の上限を定めています。履修を希望する学生が当該授業科目の履修定員を上回る場合は受講調整を行います。事前に履修希望を申し出なかった学生（受講調整を実施する日に授業を欠席した者）は履修できません。

受講調整は、履修希望申請用紙（マークカード）による「無作為抽選」のほか、授業科目の内容によっては科目担当教員が定める方法で実施されます。なお、必修科目の履修希望学生と4年次以上の履修希望学生が優先されることになります。

(3) 履修登録後の留意点

履修登録完了後（訂正期間後）は登録した科目の変更は認められません。学生自身が必ず学務情報システムから履修時間割表を印刷して内容を確実に確認してください。

履修確認・訂正期間後に本人の確認不足等を理由により履修登録科目の訂正を申し出ても認められません。

履修登録後、登録授業科目を履修しない場合（授業内容が予想や理解と異なっていた等）は、履修登録キャンセル期間中に履修科目のキャンセル手続きを行うことができます。手続きをしない場合は、当該授業科目の評価は「不可」となり、GPAの計算上不利になるので注意してください。

IV. 教養教育科目の履修方法

1. 教養教育科目履修基準について

教養教育科目の履修基準（卒業に必要な修得すべき単位数）は、入学時に配付された「教養教育履修案内」及び所属学部・学部の履修案内（履修手引）に定めており、その基準に従って履修しなければなりません。

2. 教養教育科目の履修方法の一般的注意について

- ① 履修登録していない授業科目は履修できません。
- ② 同一時間帯に2つ以上の授業科目を履修登録できません。
- ③ 学科・課程・EP等（以下、学科等）（学士プログラム）においてクラス指定している授業科目は、原則として指定されたクラス以外の学生は履修できません。
- ④ 授業科目によっては、1つの授業科目に2名以上の教員が分担（オムニバス授業）することがあります。このような場合は全ての教員の授業を履修しなければ単位は修得できません。
- ⑤ 同じ名称の授業科目が複数開講されている科目（例えば「日本国憲法」等）は、異なる教員、異なる学期、曜日、時限であっても1つの授業科目として取り扱います。

同じ名称の授業科目が複数開講されている場合は、クラス指定や別の指示がなければ、1つの授業科目のみを選択履修してください。

- ⑥ 休講、教室変更、試験通知等は、その都度掲示板によって案内しますので、常に確認してください。
- ⑦ その他不明な点は、所属学部・学部の学務担当係に遠慮なく相談してください。

3. 教養コア科目の履修について

開講科目に関する最新の情報や変更点は掲示板に掲載されますので、必ず確認してください。なお、対象学部の略称は以下のとおりです。

教：教育学部・教育人間科学部	済：経済学部	営：経営学部
理：理工学部	都：都市科学部	社：都市科学部都市社会共生学科

（1）基礎科目 人文社会系科目（セメスター科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9001001	春	木	3	哲学	松本 展明	2	【共通】	1～4	
9001002	春	火	4	宗教学	江川 純一	2	【共通】	1～4	
9001003	秋	金	2	東洋思想史	独孤 蟬覚	2	【共通】	1～4	
9001004	春	木	4	倫理学	下城 一	2	【共通】	1～4	
9001005	春	火	4	現代芸術論	樽沼 範久	2	【共通】	1～4	
9001006	春	金	3	Cinema	カルパントラ、ファビアン	2	教・済・営・理	1～4	
9001007	秋	火	4	世界の音楽と文化	丸山 洋司	2	【共通】	1～4	
9001008	秋	木	4	鍵盤楽器の名曲	森野 かおり	2	【共通】	1～4	
9001009	秋	月	4	日本近現代音楽史	葛西 周	2	【共通】	1～4	
9001010	春	月	2	歌の魅力	河野 克典	2	【共通】	1～4	
9001011	春	火	3	美術の見かた	小池 研二	2	【共通】	1～4	
9001012	秋	木	4	水彩画基礎技術	赤木 範陸	2	【共通】	1～4	
9001013	春	月	4	色彩論	渡辺 邦夫	2	【共通】	1～4	
9001014	秋	木	3	基礎造形A	原口 健一	2	【共通】	1～4	

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9001015	秋	月	3	日本の古典文学	三宅 晶子	2	【共通】	1～4	
9001016	春	月	2	日本の近代文学	一柳 廣孝	2	【共通】	1～4	
9001017	春	火	4	中国の古典文学	高芝 麻子	2	【共通】	1～4	
9001018	秋	水	4	英米文学	平尾 吉直	2	【共通】	1～4	
9001019	春	月	3	ヨーロッパ文学	福田 桃子	2	【共通】	1～4	
9001021	秋	月	4	日本の言語	古田 恵美子	2	【共通】	1～4	
9001024	春	木	3	日本前近代史	多和田 雅保	2	【共通】	1～4	
9001025	秋	月	3	日本近現代史	加藤 千香子	2	【共通】	1～4	
9001029	秋	月	3	地誌学概論	池口 明子	2	【共通】	1～4	
9001033	春	火	2	文化人類学の考え方	松本 尚之	2	【共通】	1～4	
9001036	春	月	4	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※1
9001037	秋	月	4	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※1
9001038	春	月	5	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※1
9001039	秋	月	5	日本国憲法	御手洗 大輔	2	【共通】	1～4	※1
9001040	秋	火	3	現代と法	笹岡 愛美	2	【共通】	1～4	
9001041	春	火	3	法学概論	竹内 明世	2	【共通】	1～4	
9001042	秋	水	3	法と人間	根本 洋一	2	【共通】	1～4	
9001043	秋	火	4	現代政治(日本)	内田 智	2	【共通】	1～4	
9001044	秋	木	2	現代政治(国際)	梶島 洋美	2	【共通】	1～4	
9001045	春	木	4	行政組織と公務員	小田 勇樹	2	【共通】	1～4	
9001049	春	月	3	社会科学概論A	吉本 惣一	2	【共通】	1～4	
9001050	春	月	4	社会科学概論B	吉本 惣一	2	【共通】	1～4	
9001051	秋	火	1	社会科学の方法	板井 広明	2	【共通】	1～4	
9001052	春	火	1	社会科学の歴史	板井 広明	2	【共通】	1～4	
9001053	春	水	1	現代の経済A	虞 朝聞	2	教・営・理・都	1～4	
9001054	春	木	4	現代の経済A	亀卦川 芽以	2	教・営・理・都	1～4	
9001055	秋	木	4	現代の経済B	亀卦川 芽以	2	教・営・理・都	1～4	
9001056	秋	水	1	現代の経済B	虞 朝聞	2	教・営・理・都	1～4	
9001065	春	月	3	心理学A	渡邊 寛	2	【共通】	1～4	
9001066	春	火	4-5隔週	心理学B	堀井 俊章	2	【共通】	1～4	
9001067	秋	月	2	心理学B	高本 真寛	2	【共通】	1～4	
9001068	春	金	4	障害と周辺領域 I	松下 浩之	2	【共通】	1～4	
9001069	秋	木	4	心理学史	鈴木 朋子	2	【共通】	1～4	
9001082	秋	月	5	日本語を教えよう	河野 俊之	2	【共通】	1～4	
9001086	秋	木	4	現代社会論	片岡 浩二	2	【共通】	1～4	
9001088	春	木	3	社会生活と法	小沢 奈々	2	【共通】	1～4	
9003109	春	木	2	World Legal Systems and Management Philosophy	荒木 一郎・鈴木 雅久	2	【共通】	2～4	※2
9003110	春	木	4	Arabic language and its Culture	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003111	秋	木	4	Elements of Linguistic Knowledge	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003112	春	火	4	Business Japanese Language and Culture A	松浦 光	2	【共通】	1～4	※2
9003113	秋	火	4	Business Japanese Language and Culture B	松浦 光	2	【共通】	1～4	※2
9003114	秋	水	4	Business Japanese Language and Culture C	小田切 由香子	2	【共通】	1～4	※2
9003115	秋	水	3	Transcultural Understanding through Foreign Languages	小田切 由香子	2	【共通】	1～4	※2
9003121	秋	火	4	Advertisement Art A	塩谷 久米夫	2	【共通】	1～4	※2
9003122	春	火	4	Advertisement Art B	塩谷 久米夫	2	【共通】	1～4	※2
9003140	第4	火	5	Advertisement Art A I (Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	※2
9003141	第5	火	5	Advertisement Art A II (Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	※2
9003142	第1	火	5	Advertisement Art B I (Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	※2
9003143	第2	火	5	Advertisement Art B II (Seminar)	青木 直人・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	※2
9003149	春	水	3	Elements of Linguistic Language #2	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2

※1 教育職員免許状取得希望者は「日本国憲法」2単位を必修とします。

※2 授業は英語で行われます。

(2) 基礎科目 自然科学系科目 (セメスター科目/ターム科目)

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9002001	春	月	4	経済・経営のための基礎数学Ⅰ	馬場 裕	2	【共通】	1～4	
9002002	秋	火	4	経済・経営のための基礎数学Ⅱ	馬場 裕	2	【共通】	1～4	
9002003	春	月	2	文系のための線形代数入門	馬場 裕	2	【共通】	1～4	
9002004	春	木	1	微分積分Ⅰ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9002005	春	木	2	微分積分Ⅰ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9002007	春	金	1	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1～4	※3
9002008	春	金	2	微分積分Ⅰ	平田 康史	2	経営	1～4	※3
9002009	秋	木	1	微分積分Ⅱ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9002010	秋	木	2	微分積分Ⅱ	加納 浩之	2	経済	1～4	
9002012	秋	金	1	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1～4	※3
9002013	秋	金	2	微分積分Ⅱ	平田 康史	2	経営	1～4	※3
9002014	春	月	3	線形代数Ⅰ	加田 修	2	教・済・社	1～4	
9002016	春	月	4	線形代数Ⅰ	加田 修	2	済・営	1～4	※4
9002017	春	水	1	線形代数Ⅰ	佐藤 健治	2	経営	1～4	※4
9002018	秋	月	3	線形代数Ⅱ	加田 修	2	教・済・社	1～4	
9002020	秋	月	4	線形代数Ⅱ	加田 修	2	済・営	1～4	※4
9002021	秋	水	1	線形代数Ⅱ	佐藤 健治	2	経営	1～4	※4
9002022	春	木	2	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教・済・営・社	1～4	
9002023	春	木	3	数理科学Ⅰ	小関 健太	2	教・済・営・社	1～4	
9002024	秋	木	2	数理科学Ⅱ	野間 淳	2	教・済・営・社	1～4	
9002025	秋	木	3	数理科学Ⅱ	額田 順二	2	教・済・営・社	1～4	
9002027	第1	月	4	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きA	影井 清一郎・寺田 敏司	1	【共通】	1～4	
9002028	第2	月	4	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きB	藪田 哲郎・川井 謙一	1	【共通】	1～4	
9002030	春	金	3	コンピューターで学ぶ統計学A	千島 昭宏	2	【共通】	1～4	
9002031	秋	金	3	コンピューターで学ぶ統計学B	千島 昭宏	2	【共通】	1～4	
9002032	春	木	3	統計学Ⅰ－A	伊藤 有希	2	教・済・営・社	1～4	※5
9002033	秋	火	2	統計学Ⅱ－A	本橋 永至	2	教・済・営・社	1～4	※5
9002034	春	月	5	統計学Ⅰ－C	辻 裕之	2	理・都	2～4	※6
9002035	秋	月	5	統計学Ⅱ－C	辻 裕之	2	理・都	2～4	※6
9002036	春	火	4	動力とエネルギー	山本 郁夫	2	教・済・営・社	1～4	
9002037	秋	木	4	実験で学ぶ物理学B	平島 由美子	2	教・済・営・社	1～4	
9002038	春	木	5	物理の世界A	野村 高一	2	教・済・営・社	1～4	
9002039	秋	木	5	物理の世界B	野村 高一	2	教・済・営・社	1～4	
9002040	春	火	4-5	体験物理学A	野村 高一・関谷 隆夫	2	教・済・営・社	1～4	
9002041	秋	火	4-5	体験物理学B	野村 高一・関谷 隆夫	2	教・済・営・社	1～4	
9002043	第4	木	4	地球と惑星の科学Ⅰ	中島 隆	1	【共通】	1～4	
9002044	第5	木	4	地球と惑星の科学Ⅱ	中島 隆	1	【共通】	1～4	
9002045	春	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1～4	
9002046	秋	火	4-5	基礎から学ぶ化学	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1～4	
9002047	春	火	3	化学の世界A(物質観としての化学)	権谷 佐織	2	教・済・営・社	1～4	
9002048	春	月	2	化学の世界B(生活の化学)	鵜川 彰人	2	教・済・営・社	1～4	
9002049	秋	月	2	化学の世界C(環境の化学)	真名垣 聡	2	教・済・営・社	1～4	
9002050	秋	月	2	化学の世界D(生命の化学)	樫村 吉晃	2	教・済・営・社	1～4	※7
9002051	秋	木	4	文系のための生物科学と生物教育	西 栄二郎	2	教・済・営・社	1～4	
9002052	秋	火	3	生物地理学入門	倉田 薫子	2	【共通】	1～4	
9002053	秋	木	4	生命科学	平塚 和之・他	2	【共通】	1～4	※7
9002055	第1	火	3	古生物の科学Ⅰ	間嶋 隆一	1	【共通】	1～4	
9002056	第2	火	3	古生物の科学Ⅱ	間嶋 隆一	1	【共通】	1～4	
9002057	第1	火	4	生物の世界Ⅰ	菊池 知彦・他	1	【共通】	1～4	
9002058	第2	火	4	生物の世界Ⅱ	菊池 知彦・他	1	【共通】	1～4	
9002059	春	火	4	生物の社会	菊池 知彦・他	2	理工	1～4	※8

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9002060	春	火	3	身近な電気と機械	坂本 智	2	【共通】	1～4	
9002066	春	木	2	エネルギー工学序論	奥山 邦人・光島 重徳	2	【共通】	1～4	※9
9002076	春	月	2	物質と量子の相互作用 ～機器分析を始める前に	谷村 誠	2	【共通】	1～4	
9002078	春	火	3	図形科学	後藤 真理子	2	【共通】	1～4	※10
9002079	春	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※10
9002080	春	木	4	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※10
9002081	春	火	4	図形科学	後藤 真理子	2	【共通】	1～4	※10
9002082	秋	木	3	図形科学	金田 徹	2	【共通】	1～4	※10
9002083	春	火	4	はじめてのWebページ作成	山本 光	2	【共通】	1～4	
9002084	春	木	4	情報科学	岡嶋 克典	2	済・営	1～4	
9002085	秋	木	4	情報科学	金田 徹	2	済・営	1～4	
9002087	秋	月	4	コンピュータシステムとコミュニケーション	河野 隆二・杉本 千佳・森 辰則	2	【共通】	1～4	
9002096	秋	木	4	環境化学概論	津野 宏	2	【共通】	1～4	
9002106	秋	木	4	気象学入門	筆保 弘徳	2	【共通】	1～4	
9002108	第4	木	1	地質リスクマネジメントⅠ	崔 瑛	1	【共通】	1～4	
9002109	第5	木	1	地質リスクマネジメントⅡ	崔 瑛	1	【共通】	1～4	
9003101	春	金	3	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	西村 明俊	2	【共通】	1～4	※2
9003102	秋	火	4	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	熊崎 美枝子・森 昌司・松澤 幸一	2	【共通】	1～4	※2
9003103	秋	金	4	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	佐藤 恭一・他	2	【共通】	1～4	※2
9003104	春	水	5	Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	未定	2	【共通】	1～4	※2
9003125	秋	木	4	Business Problem Solving Logics and Framework	柏木 吉基	2	【共通】	1～4	※2
9003127	春	木	4	Modeling with Statistics and Meta-Data	柏木 吉基	2	【共通】	2～4	※2
9003136	第6	集中		ICT Literacy	アトチェ, グスタボ	2	【共通】	1～4	※2
9003137	第6	集中		ICT Project	アトチェ, グスタボ	2	【共通】	1～4	※2
9003138	春	月	2	Cyber Studies	永野 寛	2	【共通】	1～4	※2
9003139	秋	月	2	Modeling with Calculus and Algebra	永野 寛	2	【共通】	1～4	※2

※3 経営学部「経営学科」「会計・情報学科」「経営システム科学科」の必修科目。

※4 経営学部「会計・情報学科」「経営システム科学科」の必修科目。

※5 経営学部全学科の必修科目。

※6 理工学部「建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザイン EP」の選択必修科目。

※7 「化学の世界 D (生命の化学)」「生命科学」は、片方の科目のみ履修することができます。すでにどちらかの科目を修得した者は履修できません。

※8 理工学部生のみ履修することができます。「生物の社会」で再履修しない平成 28 年度以前に履修した学生は、基礎科目（自然科学系）から別の科目を選択してください。

※9 理工学部「化学・生命系学科」の準必修科目。

※10 「図学Ⅰ」（専門基礎科目）と重複して単位を取得することはできません。また、「図学Ⅰ」を開講していない学部及び学科を優先します。

（3）現代科目（セメスター科目／ターム科目）

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9001020	春	金	3	国際理解 在日・日本語文学概論	四方田 千恵・山根 俊彦	2	【共通】	1～4	
9001022	春	木	3	国際理解 国際日本学入門	四方田 千恵	2	【共通】	1～4	
9001023	秋	火	3	国際理解 国際交流における日本語の役割	半沢 千絵美	2	【共通】	1～4	
9001026	春	木	3	古代ギリシアの神話と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1～4	
9001027	秋	木	4	古代ローマの伝説と歴史	大塚 英樹	2	【共通】	1～4	
9001028	秋	月	3	国際理解 日本語をめぐる国際交流史	小川 誉子美	2	【共通】	1～4	
9001030	秋	火	2	地域連携と都市再生B(かながわ地域学)	志村 真紀・池島 祥文・伊集 守直	2	教・済・営・理	1～4	※11
9001031	秋	金	4	国際理解 日韓関係論	関 東暉	2	【共通】	1～4	

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9001032	春	水	5	横浜学--地域の再発見--	安野 舞子	2	【共通】	1~4	※11
9001034	秋	金	3	国際理解 日中比較文化論	明田川 聡士	2	【共通】	1~4	
9001035	春	不定期		国際理解 留学生支援で学ぶ異文化理解	半沢 千絵美・金 蘭美	2	【共通】	1~4	
9001046	春	月	3	神奈川の未来	梅野 匡俊	2	【共通】	1~4	※11
9001057	春	月	1	現代の経営と社会	大沼 雅也・他	2	【共通】	1~4	
9001060	秋	木	4	現代の物流経営	松井 美樹	2	【共通】	1~4	※11
9001061	春	月	3	経営者の役割と従業員の役割	小澤 重夫	2	【共通】	1~4	
9001062	秋	月	3	実践新商品企画	梅野 匡俊	2	【共通】	1~4	
9001063	第3	集中		実践地域と起業	梅野 匡俊・井手 美由樹	2	【共通】	1~4	※11
9001064	春	金	4	アントレプレナー入門	為近 恵美	2	【共通】	1~4	
9001070	春	月	2	人と動物の関係学	安藤 孝敏	2	【共通】	1~4	
9001071	秋	水	4	人と動物の幸せな共生を考える	安野 舞子	2	【共通】	1~4	
9001072	春	月	4	教育学(教育と人間)	矢野 泉	2	【共通】	1~4	
9001073	秋	月	2	教育学(教育と人間)	新谷 康浩	2	【共通】	1~4	
9001074	春	月	3	教育学(教育と人間)	藤井 佳世	2	【共通】	1~4	
9001075	春	火	3	学校教育最前線	野中 陽一・他	2	【共通】	1~4	
9001076	春	火	4	職業と教育	横尾 恒隆	2	【共通】	1~4	
9001077	秋	木	3	生涯発達論	園田 菜摘	2	【共通】	1~4	
9001078	春	火	3	家庭科で考えるこれからの人生	堀内 かおる	2	【共通】	1~4	
9001079	春	火	3	特別支援教育入門	後藤 隆章・他	2	【共通】	1~4	
9001080	秋	火	3	特別支援教育入門	軍司 敦子・他	2	【共通】	1~4	
9001081	秋	火	4	インクルーシブ教育入門	高野 陽介	2	【共通】	1~4	
9001083	春	不定期		学外活動(教育ボランティア)	島田 広	2	【共通】	1~4	※12
9001084	秋	不定期		学外活動(教育ボランティア)	島田 広	2	【共通】	1~4	※12
9001085	秋	水	3	国際理解 平和教育概論	高部 優子	2	【共通】	1~4	
9001087	秋	月	2	ESD(持続可能な開発のための教育)入門	松葉口 玲子	2	【共通】	1~4	
9001089	秋	金	5	危機管理学	上原 美都男	2	【共通】	1~4	
9001090	春	火	3	コミュニケーションとしての法哲学	米村 幸太郎	2	【共通】	1~4	
9002029	春	火	3	フラクタル	西村 尚史	2	【共通】	1~4	
9002054	春	木	5	生態工学	目黒 伸一	2	【共通】	1~4	
9002061	秋	月	5	科学技術史	庄司 高太	2	【共通】	1~4	
9002062	春	月	2	海事技術史	南 清和	2	【共通】	1~4	※11,13
9002064	春	火	3	材料学入門	中尾 航・梅澤 修・材料工学EP各教員	2	理工	1~4	※14
9002065	春	火	5	材料学入門	中尾 航・梅澤 修・材料工学EP各教員	2	【共通】	1~4	※14
9002070	第4	火	3	土木史と文明Ⅰ	細田 暁	1	【共通】	1~4	※15
9002071	第5	火	3	土木史と文明Ⅱ	細田 暁	1	【共通】	1~4	※15
9002072	秋	火	3	土木史と技術者倫理	細田 暁	2	理工	1~4	※16,17
9002073	第1	火	4	国土学とグローバル社会Ⅰ	中村 由行・他	1	【共通】	1~4	※15
9002074	第2	火	4	国土学とグローバル社会Ⅱ	中村 由行・他	1	【共通】	1~4	※15
9002077	秋	木	4	研究開発論-大学・企業・イノベーション-	為近 恵美	2	【共通】	2~4	
9002086	春	火	1	地球環境と情報	大矢 勝	2	【共通】	1~4	
9002090	秋	火	3	情報と社会	室井 尚	2	【共通】	1~4	
9002092	秋	月	3	情報セキュリティ入門	志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9002093	春	水	2	情報ネットワークシステム入門	志村 俊也	2	【共通】	1~4	
9002094	秋	火	3	プログラミングによる思考と表現の基礎	塩野 康徳	2	【共通】	1~4	
9002095	秋	木	5	ICTナレッジマネジメント・コラボレーション	田名部 元成・塩野 康徳	2	【共通】	1~4	
9002097	春	火	3	エネルギーと環境	辻 隆男	2	【共通】	1~4	※11
9002098	春	木	3	安全・環境と社会	澁谷 忠弘・他	2	【共通】	1~4	※9,11
9002099	秋	水	3	建築の環境と防災	田才 晃・杉本 訓祥・他	2	【共通】	1~4	※11,18
9002101	第1	火	3	環境リスクとつきあうⅠ	中村 達夫・他	1	【共通】	1~4	
9002102	第2	火	3	環境リスクとつきあうⅡ	中井 里史・本藤 祐樹	1	【共通】	1~4	
9002105	春	月	5	地域連携と都市再生A(ヨコハマ地域学)	内海 宏・志村 真紀	2	教・済・営・理	1~4	※11
9002107	秋	木	4	応用気象学	上野 充	2	【共通】	1~4	

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9002110	春	火	4	居住環境論	佐桑 あずさ	2	【共通】	1～4	
9002111	春	火	3	食教育論	三戸 夏子	2	【共通】	1～4	
9002112	秋	水	4	健康の科学	大重 賢治・藤川 哲也・福榮 太郎・杉山 明子	2	【共通】	1～4	
9003001	秋	火	3	台湾事情	四方田 千恵	2	【共通】	1～4	
9003002	秋	月	3	韓国事情	金 蘭美	2	【共通】	1～4	
9003003	秋	不定期		ベトナム事情	田名部 元成	2	【共通】	2～4	
9003004	秋	不定期		インドネシア事情	高橋 弘司・頼 俊輔	1	【共通】	2～4	
9003005	第3	集中		ブラジル事情	山崎 圭一	2	【共通】	2～4	
9003006	春	不定期		パラグアイ事情	藤樹 洋子	2	【共通】	2～4	
9003007	春	火	4隔週	中国事情Ⅰ	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	2～4	
9003008	秋	火	4隔週	中国事情Ⅱ	徐 浩源・于 臣	1	【共通】	2～4	
9003009	秋	月	3	グローバル・シティズンシップ	山本 泰生・他	2	【共通】	1～4	
9003116	秋	水	3	Multicultural Practice	山本 泰生・吉田 昌平・他	2	【共通】	1～4	※2
9003117	秋	金	3	Multiethnic Japan	長谷川 健治	2	【共通】	2～4	※2,※19
9003118	秋	不定期		Multiethnic Japan (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	2～4	※2,※19
9003119	春	金	3	Yokohama Studies	長谷川 健治	2	【共通】	2～4	※2,※20
9003120	春	不定期		Yokohama Studies (Seminar)	長谷川 健治	1	【共通】	2～4	※2,※20
9003123	秋	木	4	Business Administration and its Operation	大畑 のどか・関田 裕	2	【共通】	1～4	※2
9003124	秋	木	3	Business Logics and Team Consensus	柏木 吉基	2	【共通】	1～4	※2
9003126	春	木	3	Business Planning with Accounting and Finance	柏木 吉基	2	【共通】	2～4	※2
9003129	春	月	3	Business Problem Solving and Project Management	細谷 功	2	【共通】	2～4	※2
9003130	春	火	4	Life-Long Planning and Global Career Design	竹内 上人	2	【共通】	1～4	※2
9003131	春	火	3	Facilitation and Management with Emotional Intelligence	竹内 上人	2	【共通】	1～4	※2
9003132	秋	火	4	Facilitation and Empowerment for Team Building	竹内 上人	2	【共通】	2～4	※2
9003133	秋	火	5	Business Communication and Emotional Literacy	竹内 上人	2	【共通】	1～4	※2
9003134	春	月	4	Business Planning with Intellectual Property	渡邊 知子	2	【共通】	2～4	※2
9003135	秋	月	4	Plagiarism and its Regulations	渡邊 知子	2	【共通】	2～4	※2
9003144	春	月	3	Multicultural Conference A (Arts & Culture)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	※2
9003145	春	金	2	Multicultural Conference B (Business & Economy)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	※2
9003146	秋	月	3	Multicultural Conference A (Arts & Culture)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	※2
9003147	秋	金	3	Multicultural Conference B (Business & Economy)	鈴木 雅久・他	2	【共通】	1～4	※2
9003151	第3	集中		Collaborative Assistanship B	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	※2
9003155	秋	不定期		Collaborative Assistanship A	鈴木 雅久・他	1	【共通】	1～4	※2
9003156	春	不定期		Collaborative Assistanship B	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	※2
9003157	秋	不定期		Collaborative Associateship A	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	※2
9003158	春	不定期		Collaborative Associateship B	鈴木 雅久・他	1	【共通】	2～4	※2
9003201	春	不定期		海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9003202	春	不定期		海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9003203	春	不定期		Practice in International DiplomacyⅠA	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003204	春	不定期		Practice in International DiplomacyⅠB	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003205	春	不定期		Practice in International DiplomacyⅡA	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003206	春	不定期		Practice in International DiplomacyⅡB	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003207	春	不定期		Transcultural Practice in OverseasⅠ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003208	春	不定期		Transcultural Practice in OverseasⅡ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003209	春	不定期		International VolunteerⅠ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003210	春	不定期		International VolunteerⅡ	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003211	秋	不定期		海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9003212	秋	不定期		海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ	吉田 昌平・鈴木 雅久	1	【共通】	1～4	
9003213	秋	不定期		Practice in International DiplomacyⅠA	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003214	秋	不定期		Practice in International DiplomacyⅠB	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003215	秋	不定期		Practice in International DiplomacyⅡA	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003216	秋	不定期		Practice in International DiplomacyⅡB	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003217	秋	不定期		Transcultural Practice in OverseasⅠ	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9003218	秋	不定期		Transcultural Practice in Overseas II	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003219	秋	不定期		International Volunteer I	吉田 昌平	1	【共通】	1～4	※2
9003220	秋	不定期		International Volunteer II	吉田 昌平	2	【共通】	1～4	※2
9003901	第3	集中		海外中国語研修B	于 臣	2	【共通】	2～4	
9004001	春	火	3	数理統計	永井 圭二	2	【共通】	2～4	
9004003	春	不定期		地域課題実習 I	志村 真紀・他	1	【共通】	1～4	※11
9004004	秋	不定期		地域課題実習 II	志村 真紀・他	1	【共通】	1～4	※11
9004005	春	水	3	Wake up! プロジェクト	市村 光之	2	【共通】	1	
9004006	春	金	4	まなび座 I・校友会リレートーク	市村 光之	2	【共通】	1	
9004007	秋	水	2	グローバル化と日本人	市村 光之	2	【共通】	1～4	※11
9004008	春	金	4	まなび座 II・リーダーシップ実践	市村 光之	2	【共通】	2～4	
9004011	春	金	3	コミュニケーション能力・実践の再考	小林 正佳	2	【共通】	1～4	
9004012	第6	集中		YNUの研究者と語るー今、そして少し先の未来ー	泉 真由子・他	2	【共通】	1～4	

※11 この科目は地域交流科目です。教養コア科目としても履修できます。地域交流科目については別冊子を確認してください。

※12 この科目は教育職員免許状取得を希望しない学生は履修できません。教育人間科学部の「学外活動・学外学習Ⅱ」と重複して単位を取得することはできません。

※13 理工学部「建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザイン EP」の必修科目。

※14 理工学部「材料工学 EP」の必修科目。

※15 理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤 EP」の学生は履修できません。

※16 理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤 EP」の必修科目。

※17 理工学部「建築都市・環境系学科都市基盤 EP」の学生のみ履修できます。他所属の学生で平成 28 年度以前に履修した学生は、現代科目から別の科目を選択してください。

※18 理工学部「建築都市・環境系学科建築 EP」の学生は履修できません。

※19 「Multiethnic Japan」「Multiethnic Japan (Seminar)」は、同一学期内に同時履修することが必須です。片方の科目だけを履修することはできません。

※20 「Yokohama Studies」「Yokohama Studies (Seminar)」は、同一学期内に同時履修することが必須です。片方の科目だけを履修することはできません。

(4) 総合科目 (セメスター科目／ターム科目)

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9001047	春	月	2	経済学の諸課題Ⅰ	石山 幸彦	2	【共通】	1～4	
9001048	秋	月	2	経済学の諸課題Ⅱ	奥村 綱雄	2	【共通】	1～4	
9001058	秋	火	5	ベンチャーから学ぶマネジメント	井上 徹・他	2	【共通】	1～4	※11
9001059	春	火	5	経営者から学ぶリーダーシップと経営理論	井上 徹・他	2	【共通】	1～4	
9002026	秋	火	3	数理科学概論	野間 淳・数理科学EP各教員	2	【共通】	1～4	※21
9002042	春	金	4	物理学概論	上原 政智・物理学EP各教員	2	【共通】	1～4	※22,23
9002063	春	木	4	物質工学と社会	武田 稜	2	【共通】	1～4	※9
9002067	春	水	4	機械工学と社会とのかかわり合い	熊谷 頼範	2	【共通】	1～4	
9002068	春	水	1	機械工学と社会とのかかわり合い	榊田 明宏	2	【共通】	1～4	
9002069	秋	水	4	海洋工学と社会	海洋空間のシステムデザインEP各教員	2	【共通】	1～4	※11,13
9002075	春	火	4	土木工学と社会	中村 由行・他	2	理工	1～4	※17
9002088	春	金	3	電子情報システム概論	辻 隆男	2	【共通】	1～4	※22
9002089	春	金	3	情報工学概論	長尾 智晴・情報工学EP全教員	2	【共通】	1～4	※22,24
9002091	秋	木	4	情報通信技術が培う近未来医療	塩見 正・河野 隆二	2	【共通】	1～4	

時間割コード	期間	曜日	時限	授業科目名	教員名	単位	対象学部	対象学年	備考
9002100	秋	月	4	都市と建築	大原 一興・他	2	【共通】	1～4	※18
9002103	第4	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅰ	酒井 暁子・他	1	【共通】	1～4	※11
9002104	第5	火	4	環境をめぐる諸問題Ⅱ	松田 裕之・他	1	【共通】	1～4	※11
9003128	秋	月	4	Business Planning and Proposal	細谷 功	2	【共通】	2～4	※2
9003150	春	金	4	Collaborative Studies #2	山本 泰生・鈴木 雅久	2	【共通】	1～4	※2
9003152	秋	金	4	Collaborative Studies #1	鈴木 雅久・山本 泰生	2	【共通】	1～4	※2
9003153	秋	不定期		Collaborative Studies #3	鈴木 雅久・山本 泰生	2	【共通】	1～4	※2
9003154	春	不定期		Collaborative Studies #4	鈴木 雅久・山本 泰生	2	【共通】	1～4	※2
9004002	春	月	2	システム・エンジニアリング	田村 直良	2	【共通】	1～4	
9004009	秋	火	4	ライフキャリアを考える	鈴木 紀子	2	【共通】	1～4	

※21 理工学部「数理科学 EP」の必修科目。

※22 平成26年度以前入学の理工学部「数理科学 EP」の選択必修科目。

※23 理工学部「数物・電子情報系学科の物理工学 EP」の必修科目。

※24 理工学部「情報工学 EP」の必修科目。

(5) ターム科目の履修方法

教養コア科目は、原則としてセメスター科目（2単位）として開講されますが、一部の科目がターム科目（1単位）として開講されます。

教養コア科目のターム科目は、春学期「第1タームと第2タームの連続開講（セット科目）」、秋学期「第4タームと第5タームの連続開講（セット科目）」を奨励していますが単位認定は別々に行われます。

例えば、生物の世界Ⅰ（第1ターム1単位）、生物の世界Ⅱ（第2ターム1単位）の2科目をセットで履修（2ターム連続履修）した場合、ターム科目は各々が独立した授業科目なので別々に単位認定が行われます。

なお、定期試験等の結果により、一方の授業科目が「不可」になる場合があります。再履修する場合は、次年度に当該授業科目のみ再履修してください。

また、第2及び第5ターム科目の履修登録キャンセル期間は、セメスター科目と異なっていますので必ず確認してください。

4. 情報リテラシー科目の履修について

情報リテラシー科目はそれぞれの学部、学科（EP）、課程のカリキュラムに基づいて実施されていますので、自分の所属の科目を履修してください。

科 目 名	単 位	学期	履修 学年	対 象 学 部	必 修	備 考
コンピューティング	2	春・秋	1	教育人間科学部	○	
コンピュータ・リテラシー	2	春	1～4	経済学部		
データ解析演習	2	秋	1～4	経済学部		
コンピューティング演習	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
コンピュータ科学入門	2	春	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
コンピューティング	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
化学・生命情報処理演習	1	秋	1	理工学部化学・生命系学科化学EP／化学応用EP	○	
バイオ情報演習	1	秋	1	理工学部化学・生命系学科バイオEP	○	
シミュレーションのための 情報リテラシー	2	秋	2	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP	○	
数値情報処理Ⅰ	2	春	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
数値情報処理Ⅱ	2	秋	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
自然環境情報処理	2	秋	1	理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP	○	
数理科学のための情報リテラシー	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
プログラミング実習A	1	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
プログラミング実習B	1	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
情報リテラシ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP／情報工学EP	○	

5. 基礎演習科目の履修について

基礎演習科目はそれぞれの学部、学科（EP）、課程のカリキュラムに基づいて実施されていますので、自分の所属の科目を履修してください。

科 目 名	単 位	学期	履修 学年	対 象 学 部	必 修	備 考
基礎演習	2	春	1	教育人間科学部学校教育課程	○	
教職入門	2	春	1	教育人間科学部学校教育課程	○	
基礎演習	2	集中	1	教育人間科学部人間文化課程	○	
基礎演習	2	春	1	経済学部		
基礎演習	2	秋	2	経営学部		※1
機械系の数学演習Ⅰ	1	春	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の数学演習Ⅱ	1	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の力学演習Ⅰ	1	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
機械系の力学演習Ⅱ	1	春	2	理工学部機械工学・材料系学科機械工学EP	○	
数学演習	2	春	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
物理学演習	2	秋	1	理工学部機械工学・材料系学科材料工学EP	○	
化学・生命基礎演習A	1	秋前半	1	理工学部化学・生命系学科		
化学・生命基礎演習B	1	秋後半	1	理工学部化学・生命系学科		
都市基盤演習	1	春	1	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP		
土木応用数学	2	春	1	理工学部建築都市・環境系学科都市基盤EP		
数学・力学演習Ⅰ	1	春	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
数学・力学演習Ⅱ	1	秋	2	理工学部建築都市・環境系学科海洋空間のシステムデザインEP	○	
自然環境学野外演習	2	春	1	理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EP	○	
数理科学基礎演習Ⅰ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
数理科学基礎演習Ⅱ	2	秋	1	理工学部数物・電子情報系学科数理科学EP	○	
物理数学基礎演習 A	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
物理数学基礎演習 B	2	秋	1	理工学部数物・電子情報系学科物理工学EP	○	
電気数学Ⅰ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP	○	
電気数学Ⅱ	2	春	1	理工学部数物・電子情報系学科電子情報システムEP	○	

※1 講義要目については2年次春学期に配布する別冊子「基礎演習・ゼミナールの手引」を参照してください。

6. 授業科目名変更等に伴う重複履修の禁止科目について

次の表の「平成30年度開講授業科目」欄の授業科目に対し、右に掲げる授業科目を既に履修した者は、既にその科目を履修していることから重複履修できません。

平成30年度開講授業科目	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目
世界の音楽と文化	諸民族の音楽と文化 (H26)
ESD（持続可能な開発のための教育）入門	ESD（持続可能発展教育）入門 (H29) 消費社会と共育 (H28)
国際理解 日本語をめぐる国際交流史	国際理解12（日本語をめぐる国際交流史） (H27)
国際理解 国際日本学入門	国際理解6（国際日本学入門） (H22)
国際理解 国際交流における日本語の役割	国際理解1（留学生支援入門） (H26) 国際学ⅡC：国際交流史＜教育人間科学部専門教育科目＞ (H27)
地誌学概論	地誌学A ＜教育人間科学部専門科目＞ (H24)
図形科学	図学Ⅰ＜理工学部専門基礎科目＞ (H28)
名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きA 名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩きB	名誉教授と学ぶ数理科学そぞろ歩き (H27)
地球と惑星の科学Ⅰ 地球と惑星の科学Ⅱ	地球と惑星の科学 (H28)
古生物の科学Ⅰ 古生物の科学Ⅱ	古生物の科学 (H28)
生物の世界Ⅰ 生物の世界Ⅱ	生物の社会 (H28)
地質リスクマネジメントⅠ 地質リスクマネジメントⅡ	応用地質学 (H28)
物質と量子の相互作用 ～機器分析を始める前に	先端機器分析入門 (H28)
学校教育最前線（現代科目）	学校教育最前線（総合科目） (H25)
横浜学―地域の再発見―（現代科目）	横浜学―地域の再発見―（総合科目） (H26)
地域連携と都市再生B（かながわ地域学）	地域連携と都市再生B (H26)
地域連携と都市再生A（ヨコハマ地域学）	地域連携と都市再生A (H26)
化学の世界D（生命の化学）	生命科学 (H29)
生命科学	化学の世界D（生命の化学） (H29)
グローバル化と日本人	グローバルビジネス・コミュニケーション (H28)
土木史と文明Ⅰ 土木史と文明Ⅱ	土木史と技術者倫理 (H28)
国土学とグローバル社会Ⅰ 国土学とグローバル社会Ⅱ	土木工学と社会 (H28)
環境リスクとつきあうⅠ 環境リスクとつきあうⅡ	環境リスクとつきあう (H28)
環境をめぐる諸問題Ⅰ 環境をめぐる諸問題Ⅱ	環境をめぐる諸問題 (H28)
情報工学概論 電子情報システム概論	電子情報工学と社会 (H22)
韓国事情	国際理解 日韓比較文化論 (H28) 国際理解4（日韓比較文化論） (H27)
台湾事情	国際理解 台湾の文化と社会 (H28) 国際理解4（台湾の文化と社会） (H24)
日本事情 日本の就職事情	日本事情 日本で働く (H29)
日本事情 日本の企業システム	日本事情H (H28) 日本の企業システム（国際交流科目） (H28)
日本語演習B	日本語演習D (H28)
日本語演習C	日本語演習E (H28)

平成30年度開講授業科目	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目
Advertisement Art A	Advertisement Art #1 (H28)
Advertisement Art A I (Seminar)	Studio Workshop #1 (H28)
Advertisement Art A II (Seminar)	
Advertisement Art B	Advertisement Art #2 (H28)
Advertisement Art B I (Seminar)	Studio Workshop #2 (H28)
Advertisement Art B II (Seminar)	
Arabic Language and its Culture	アラビア語とその文化 (国際交流科目) (H25) 英語演習 (アラブの言語と文化) (H25) 国際理解 3 (アラブの言語と文化) (H23)
Business Japanese Language and Culture A	Business Japanese Language and Culture #2 (H28)
Business Japanese Language and Culture B	Business Japanese Language and Culture #3 (H28)
Business Japanese Language and Culture C	Business Japanese Language and Culture #1 (H28) Business Japanese Language #1 (H26)
Business Planning and Proposal	Business Planning with Intellectual Property (H28)
Business Planning with Accounting and Finance	Business Management with Accounting and Finance (H27)
Elements of Linguistic Knowledge	Elements of Linguistic Knowledge #1 (H28)
Facilitation and Empowerment for Team Building	Team Management and Facilitation (H27)
Facilitation and Management with Emotional Intelligence	Facilitation and Management <教育人間科学部専門> (現代科目) (H26)
ICT Project	ICT応用 (人間文化基礎論ⅡB) (国際交流科目) (H25)
Multiethnic Japan	Community Studies (H28)
Multiethnic Japan (Seminar)	Multicultural Team-works #1 (H28)
Modeling with Statistics and Meta-Data	Modeling with Statistics (H28) 統計数理 (国際交流科目) (H25)
Prospects of Arch, Infstr & Ecosystem Sci	Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci (H29) Prospects of Arch, Infstr, Ocean Eng & Ecosystem Sci <YCCS専門> (H27)
Transcultural Understanding through Foreign Languages	Transcultural Understanding through English #2 (H28)
World Legal Systems and Management Philosophy	World Legal Systems (H26)
Yokohama Studies	Urban Dynamism of Yokohama (H28)
Yokohama Studies (Seminar)	Multicultural Team-works #2 (H28)
海外旅行安全対策・危機管理Ⅰ	Safety and Crisis Management for Overseas Travel I (H28)
海外旅行安全対策・危機管理Ⅱ	Safety and Crisis Management for Overseas Travel II (H28)
Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Work	Comprehensive Reading and Summary Writing IA (H28)
Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Career	Comprehensive Reading and Summary Writing IB (H28)
Academic Presentation Skills	Academic Presentation Skills A (H28)
Business Presentation Skills	Academic Presentation Skills B (H28)

7. 読替科目に伴う重複履修の禁止科目について

本学で開講している科目には、科目名は同じであるが履修対象者によって開講形態が異なり、システム上履修を制限している科目があります。次の表の「平成30年度開講授業科目」欄の授業科目に対し、右に掲げる授業科目を既に履修した者は、既にその科目を履修していることから重複履修できません。

平成30年度開講授業科目（教養教育科目）	既に履修した授業科目で重複履修できない授業科目
Business Planning and Proposal	Business Planning and Proposal <YCCS専門> (H27)
Cyber Studies	Cyber Studies <YCCS専門> (H27)
Facilitation and Management with Emotional Intelligence	Facilitation and Management with Emotional Intelligence <YCCS専門> (H27)
ICT Literacy	ICT Literacy (国際交流科目) (H25) ICT Literacy <YCCS専門> (H27)
Modeling with Calculus and Algebra	Modeling with Calculus & Algebra (国際交流科目) (H25)
Multicultural Practice	Multicultural Practice (国際交流科目) (H25)
Plagiarism and its Regulations	Plagiarism and its Regulations <YCCS専門> (H27)
Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci	Prospects of Chemistry, Chemical Eng & Life Sci <YCCS専門> (H27)
Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci	Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci <YCCS専門> (H27) Prospects of Mechanical Eng and Materials Sci (国際交流科目) (H26)
Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci	Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci <YCCS専門> (H27) Prospects of Maths, Phys, Elec, Eng & Comp Sci (国際交流科目) (H26)

8. 外国語科目の履修について

外国語科目の履修基準は、所属学部・入学年次によって異なりますので、入学時に配付された「教養教育履修案内」及び所属学部の履修案内（履修手引）を確認してください。

（1）英語科目

①英語実習 1

全学教育システム改革に伴い、平成 29 年度から開講科目が変更となりました。（再）履修の対応科目は下記の「（注）英語実習 1 の（再）履修について」を確認してください。

（注）英語実習 1 の（再）履修について

英語実習 1 を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修するクラスは抽選によって決まります。抽選の方法については、英語教育部から別途掲示がありますので、確認の上抽選に申し込み、当選後必ず履修登録してください。

不合格または未履修の科目	→	（再）履修対応科目
英語実習 1S	→	英語プレゼンテーション
英語実習 1W	→	英語ライティング
英語実習 1LR（春学期・秋学期）	→	再履修用英語実習 1LR（春学期・秋学期）※

※例外として、平成 29 年度から開講された「自立英語」「英語 LR」の履修を認められることがあります。
「自立英語」「英語 LR」の受講を希望する場合は、英語教育部に相談してください。

②英語実習 2

英語実習 2 は経営学部、理工学部の 2 年次生以上が履修します。英語実習 2 では、「英語実習 2SW」と「英語実習 2LR」を履修します。なお、英語実習 1 の中で不合格または未履修の科目があっても英語実習 2 を履修することはできます。

（注）英語実習 2 の（再）履修について

英語実習 2 を未履修の者または再履修をする者は、単位を修得していない同一科目名の英語実習 2 を履修します。抽選の方法については、英語教育部から別途掲示がありますので、確認の上抽選に申し込み、当選後必ず履修登録してください。

③英語演習

各学部で履修する科目、クラスが異なります。なお、英語実習の中で不合格または未履修の科目があっても英語演習を履修することはできます。

（ア）教育人間科学部

全学教育システム改革に伴い、平成 30 年度から開講科目が変更となりました。（再）履修の対応科目は下記の「（注）英語演習（教育人間科学部）の（再）履修について」を確認してください。

(注) 英語演習 (教育人間科学部) の (再) 履修について

平成 29 年度まで開講されていた「英語演習」、平成 25 年まで選抜クラスに所属 1 年次生向けに開講されていた「英語演習 (LR/SW)」を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修を希望する場合は、履修登録期間中に英語教育部 (高大接続・全学教育推進センターS5-2/201 室) に問い合わせてください。

不合格または未履修の科目	→	(再)履修対応科目
英語演習／英語演習 (LR/SW)	→	英語演習 1a／英語演習 1b／英語演習 1c

(イ) 経済学部

1 年次に英語実習 (または「英語実習 Advanced」) を履修した学生は、2 年次以降に英語演習を履修できます。

1 年次に英語実習を履修した学生は、「英語演習 ADW (Academic Discussion and Writing)」及び「英語演習 ARL (Academic Reading and Listening)」を履修します (合計 4 単位)。各技能でクラス分けを行います。クラスの発表は 4 月上旬に経済学部掲示板にて行います。ただし、1 年次英語統一テストの結果により指定された学生は「英語演習 Advanced β」を受講します (合計 4 単位)。

1 年次に「英語実習 Advanced」を履修した学生は「英語演習 Advanced α」を受講します (合計 4 単位)。

英語科目を実習 (4 科目 4 単位) 及び演習 (2 科目 4 単位) の合計 8 単位を超えて上限の 12 単位まで履修する場合には「英語演習 EXT」(プラクティカルな実力向上ではなく、英語や英語圏の文化に関する教養・理解を深めるためのクラス) を 3 年次以降に (2 科目 4 単位をセットとして) 履修します。

「英語演習 EXT」は、英語実習及び英語演習の合計 8 単位を修得した場合 (Advanced クラス受講者は Advanced クラスを含めた実習及び演習の 8 単位を修得した場合) にのみ卒業に必要な単位となりますので注意してください。

全学部対象の英語演習は、「英語演習 ADW」、「英語演習 ARL」、「英語演習 EXT」のいずれかに代替できます。

経済学部が許可する学生に限り、英語演習 Advanced クラスを 3 年次以降に履修して英語科目を合計 12 単位まで修得することもできます。希望者は、事前に経済学部担当の社会科学系事務部経済学務係に照会してください。

英語演習の適正履修開始年次について

	1年	2年	3年	4年
英語演習ADW／ARL		○		
英語演習Advanced α		▲※1	▲※3	
英語演習Advanced β		▲※2	▲※3	
英語演習EXT			▲※4	

○ : Advanced クラス履修の学生を除く

▲※1 : 入学時に Advanced クラスに指定された学生が 2 年次以降に履修できます。

▲※2 : 1 年次の英語統一テスト成績によって指定された学生が 2 年次以降に履修できます。

▲※3 : 経済学部の許可を得た学生が英語を 8 単位を超えて履修する場合に履修できます。(3 年次以降に初めて Advanced クラスを履修する場合、事前に経済

学部担当の社会科学系事務部経済学務係に照会してください。)

▲※4：英語を 8 単位を超えて履修する場合に 3 年次時以降に履修できます。(クラス指定はありません。2 科目 4 単位をセットとして履修します。)

◇「英語演習 ARL (Academic Reading and Listening)」

本科目は経済(学)およびビジネスに関連する英語について理解を深めスキルを向上させることを目的とする。内容は具体的には 2 本の柱からなり、授業時に経済(学)やビジネスに関する英文や映像を理解する学習や語彙増強のトレーニングを行うことと、英語自習システムを利用して主に TOEIC を念頭においた授業時間外学習を行うこととする。学期末試験は英語自習システムの TOEIC(R)L&R 模擬試験により行う。

◇「英語演習 ADW (Academic Discussion and Writing)」

The Academic Discussion and Writing is a 2-credit course for 2nd year students in the College of Economics. In this course, students: (1) improve their spoken fluency through authentic interaction (2) develop academic essay-writing skills (3) increase their intercultural awareness through exploration of academic topics. Each week students are assigned reading homework. In class, the teacher guides them through a series of exercises to help them understand both the language forms used in the reading, and the cultural and academic content. Students are expected to do the homework, ask questions, and participate fully in class activities.

※1 経済学部 of 英語演習科目 (ARL・ADW・EXT) の代わりとして、全学部対象の英語演習を履修することが認められる場合があります。

※2 「英語演習 EXT」の代わりとして、英語教育部開講の「英語演習 1a／英語演習 1b／英語演習 1c」を履修することが認められる場合があります。希望者は、経済学部から出される指示に従って事前に経済学部担当の社会科学系事務部経済学務係で手続きを行ってください。指示の内容は経済学部掲示板に学期初めに掲示します。指示に従わないで勝手に履修登録することはできませんので注意してください。

(ウ) 経営学部

経営学部開講の「英語演習」は、英語学習システムを活用した TOEIC 対策プログラムです。春学期または秋学期に 2 単位履修します。授業時間外に YNU ネットラーニングシステム (ATR CALL BRIX) を自学自習します。受講クラスは選択制です。

履修者(再履修者を含む)は、必ず経営学部担当の社会科学系事務部経営学務係から出される指示に従ってください。指示の内容は掲示板に学期初めまでに掲示します。また、学期の開講に先立って受講希望申請を受け付ける場合があります。指示に従わないで勝手に履修登録することはできませんので注意してください。

(エ) 理工学部

全学教育システム改革に伴い、平成 30 年度から開講科目が変更となりました。(再)履修の対応科目は下記の「(注) 英語演習 (理工学部) の (再) 履修について」を確認してください。

（注）英語演習（理工学部）の（再）履修について

平成 29 年度まで開講されていた「英語演習」を未履修の者または再履修をする者は、次の表に従って履修します。履修を希望する場合は、履修登録期間中に英語教育部（高大接続・全学教育推進センターS5-2/201 室）に問い合わせてください。

不合格または未履修の科目	→	（再）履修対応科目
英語演習	→	英語演習 1a／英語演習 1b／英語演習 1c

（オ）その他

上記の各学部対象の英語演習科目以外に、英語教育部が夏季休業期間に開講する「英語アカデミックプレゼンテーションスキル演習」「TOEFL-iBT スピーキング対策演習」、YCCS プログラムが提供する「Academic Presentation Skills」「Business Presentation Skills」「Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Work」「Comprehensive Reading and Summary Writing for Global Career」が英語演習科目として開講しています。各学部の単位の取扱いとしては、以下のとおりです。

教育人間科学部	英語教育部開講の「英語演習 1a」「英語演習 1b」「英語演習 1c」として代替できます。
経済学部	経済学部開講の「英語演習 ADW」、「英語演習 ARL」、「英語演習 EXT」のいずれかとして代替できます。必ず事前に、経済学務係に相談し指示を受けてください。指示に従わず勝手に履修登録をすることはできませんので注意してください。
経営学部	経営学部開講の「英語演習」として代替できます。科目によって申請手続きが異なるので、経営学部履修案内で確認してください。
工学部・理工学部	英語実習の必修単位数以外の単位として取り扱われます。

④検定英語科目

これら英語科目のほか、外部検定試験（TOEFL、TOEIC、IELTS 等）において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定英語科目があります。

検定英語科目の単位は、外国語科目の卒業に必要な単位には算入されません。ただし、教養教育科目の卒業に必要な単位数の合計には算入されます。また、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1 科目につき単位認定できるのは 1 回のみとなります。

経済学部および経営学部所属の学生は、学部独自の制度がありますので、所属学部の学務担当係に相談してください。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定英語 A	1	合格	TOEFL-ITP 550 点以上（英語演習 2b レベル）
検定英語 B	1		TOEFL-ITP 600 点以上（大学院留学レベル）

※ TOEFL-ITP 以外の外部検定試験スコアは前述したスコア換算表により取り扱います。
 なお、TOEFL-ITP 600 点以上取得した場合は、検定英語 A および検定英語 B の 2 単位認定となります。

TOEFL-ITP 以外の外部検定試験の場合は、次のスコア換算表を基準にしてください。

TOEFL-ITP	TOEFL-iBT	TOEIC	IELTS	英検
430	—	410	—	準 2 級
450	45	445	4.5	2 級
500	61	590	5	2 級 A
520	68	645	5.5	—
550	80	730	6	準 1 級
600	100	880	7	1 級

※上表以外の外部検定試験の場合は英語教育部に問い合わせてください。

(2) 初修外国語科目

①履修方法

初修外国語は、言語ごとに「〇〇語実習 1」「〇〇語実習 2」「〇〇語演習」を開設しています（ギリシア語とラテン語は実習科目のみ）。

実習科目は、同一の外国語について、「〇〇語実習 1」＋「〇〇語実習 2」の【1 セット 2 単位】で履修しなければ、卒業に必要な外国語の単位に算入することができませんので、注意してください。ただし、ギリシア語及びラテン語は【1 セット 2 単位】で履修する必要はありません。（ギリシア語とラテン語の単位の扱いは学部ごとに異なります。）

演習科目は、「〇〇語実習 1」＋「〇〇語実習 2」を【2 セット 4 単位】修得していることが履修の条件です。

なお、全学教育システム改革に伴い、平成 29 年度から初修外国語の「a」「b」「会話」の区別はなくなりました（イスパニア語は「A」「B」）。授業内容については、シラバスを確認してください。また、同一学期に同じ科目を複数履修する場合は、別の教員の授業でなければ履修することはできませんので、注意してください。

中国語とイスパニア語の（再）履修の対応科目は下記の「（注）中国語の（再）履修について」「（注）イスパニア語の（再）履修について」を確認してください。

（注）中国語の（再）履修について

中国語実習を未履修の者または再履修をする者は、平成 29 年度から次の表に従って履修します。

不合格または未履修の科目	→	（再）履修対応科目
中国語実習 1a／中国語実習 1b	→	中国語実習 1※1
中国語実習 2a／中国語実習 2b	→	中国語実習 2※2

※1 「中国語実習 1a」の（再）履修は日本人担当の「中国語実習 1」、「中国語実習 1b」の（再）履修は外国人担当の「中国語実習 1」を履修することを基本とします。

※2 「中国語実習 2a」の（再）履修は日本人担当の「中国語実習 2」、「中国語実習 2b」の（再）履修は外国人担当の「中国語実習 2」を履修することを基本とします。

（注）イスパニア語の（再）履修について

イスパニア語実習・イスパニア語演習を未履修の者または再履修をする者は、平成 29 年度から次の表に従って履修します。

不合格または未履修の科目	→	（再）履修対応科目
イスパニア語実習 1A／イスパニア語実習 1B	→	イスパニア語実習 1
イスパニア語実習 2A／イスパニア語実習 2B	→	イスパニア語実習 2
イスパニア語演習 A／イスパニア語演習 B	→	イスパニア語演習

②スピード履修

演習科目の履修は、その言語の実習 4 科目を履修し、4 単位修得しておく必要がありますが、演習科目の履修を希望するけれども、専門科目の時間割の関係、あるいは学びたい言語の開講数が少ない等の事情で、実習科目 4 科目の履修が困難な場合、条件を満たせば、「実習科目」を 4 単位修得していなくても、その言語の「演習科目」を履修することができる「スピード履修」という制度があります。

希望する学生は、各学期の履修登録の最終日の 1 週間前までに学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。

なお、実習 1 が 2 単位、実習 2 が 1 単位揃っている状況にあり、今後実習 2 を再履修して、演習まで進む学生は、学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に相談してください。なお、同一言語に限ります。

③実習科目のスキップ履修

本学に入学する前に初修外国語を学習した経験があるなど次の履修条件の一つを満たしている場合、初級レベル「実習科目」を履修せずに、中級レベル「演習科目」から「スキップ履修」することができます。ただし、スキップ履修した場合であっても、卒業に必要な外国語の単位数は変わりません。必要な数だけ演習科目を履修したり、次の④検定初修外国語科目を利用したりして、卒業に必要な単位数を満たしてください。

希望する学生は、各学期の履修登録の最終日の 1 週間前までに学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。

＜履修条件＞

1. 当該外国語の初級課程を高校その他の教育機関などで学習したことがあり、証明する文書（成績証明書、履修証明書、検定合格証書等）が提出できる学生
2. 大学入試センター試験で当該外国語を受験した学生
3. 当該外国語教育に関わる本学教員が実施する初級学力試験に合格した学生

④検定初修外国語科目

外部検定試験において一定レベルのスコアを獲得した場合に単位認定する検定初修外国語科目があります。検定初修外国語科目の単位は、卒業に必要な初修外国語（英語以外の外国語）の単位に算入されます。ただし、対象となる資格は、本学入学後に取得したもので、かつ取得後 2 年以内のものに限ります。なお、複数の外部検定試験のスコアを獲得しても、1 科目につき単位認定できるのは 1 回のみとなります。

授業科目名	単位	成績評価	外部検定試験のスコア基準
検定ドイツ語	2	合格	ドイツ語技能検定試験（ドイツ語学文学振興会）4 級合格、またはドイツ語検定試験（ゲーテ・インスティトゥート）A2 合格
検定フランス語	2		実用フランス語技能検定試験（フランス語教育振興協会）4 級合格、または DELF（フランス国民教育省フランス語学習資格）A2 合格
検定イスパニア語	2		スペイン語技能検定（スペイン語技能検定委員会）5 級合格、またはスペイン語認定証（セルバンテス文化センター東京）DELE A2 合格
検定ロシア語	2		ロシア語能力検定試験（ロシア語能力検定委員会／東京ロシア語学院）4 級合格
検定中国語	2		中国語検定（HSK）3 級合格、または中国語検定試験（日本中国語検定協会）準 4 級合格
検定朝鮮語	2		ハングル能力検定試験（ハングル能力検定協会）5 級合格、または韓国語能力検定（韓国教育財団）1 級合格

9. 健康スポーツ科目の履修について

（1）健康スポーツ科目の編成

学 部	授業科目名	単位	学期	履修年次	必修・選択別
教育人間科学部 学校教育課程	健康スポーツ演習 A	2	春または秋	1	必修科目
全学共通	健康スポーツ演習 B	2	春または秋	1～4	選択科目

※教育職員免許状取得希望学生は健康スポーツ演習 A または健康スポーツ演習 B（2 単位）が必修となります。

※健康スポーツ演習 B について、教育人間科学部学校教育課程の履修年次は 2～4 年次とします。

（2）健康スポーツ演習の履修方法

①健康スポーツ演習 A

健康スポーツ演習 A は、教育人間科学部学校教育課程 1 年次学生の必修科目とし、教育職員免許状取得における体育全般についての基礎的な知見の修得を目標とします。

演習科目は複数授業開設されており、その中から 1 つ授業を選択履修します。1 年次春セメスター

(春学期)の最初に開講する授業オリエンテーションの際に説明します。

なお、授業オリエンテーションを欠席すると履修できないことがあるので注意してください。また、疾病または身体障がい理由として履修が困難な学生は、教育学部健康スポーツ教育担当窓口（教育学部第1研究棟 S3-2/104 室）に直接届け出て指示を受けてください。

②健康スポーツ演習 B

健康スポーツ演習 B は、すべての学部生の選択科目（全学共通）として、健全な心身の発育発達の保障と運動習慣の体得を目標とします。

演習科目は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）で定められた教養教育科目の履修基準に従って履修することになります。

（3）健康スポーツ演習の履修登録手続き

健康スポーツ科目を履修する学生は、教育学部健康スポーツ教育担当窓口で履修登録手続きを経て履修することになります。健康スポーツ演習は、適正な授業運営と教育効果の向上から履修学生数による制限を行います。

履修登録を希望する学生は、各セメスター（学期）開講日から1週間内に開催されるオリエンテーションを受け、第一次登録をします。届出学生が履修定員を超えた場合は抽選を行います。抽選に受かった学生は、やむを得ない事情がない限り、必ず履修登録をすることとします。

抽選結果は2週目に所属学部掲示板に掲示します。抽選に外れた場合、もしくは新たな授業を希望する場合、開講2週目に各授業の開講場所にて、第二次登録手続きをします。

なお、集中授業のオリエンテーションも開講1週間内に開催します。

日時と場所は次の通りです。

第一次登録	授業開講1週目の開講時限 <体育館>
第二次登録	授業開講2週目の開講時限 <開講場所>

（抽選結果の掲示場所）学生の所属学部の掲示板

（4）健康スポーツ演習の履修上の注意

① 健康スポーツ演習は、科目の性格上、出席を特に重視しており、規定の出席回数に満たないときは、単位は認定されません。

② 教育人間科学部学校教育課程の学生にあつては、健康スポーツ演習Bの修得単位を健康スポーツ演習Aの単位に振り替えることは原則できません。

ただし、やむを得ない事情があるときは、教育学部健康スポーツ教育担当窓口（教育学部第1研究棟 S3-2/104 室）に問い合わせてください。

③ 再履修については、教育学部健康スポーツ教育担当窓口（教育学部第1研究棟 S3-2/104 室）に問い合わせてください。

10. 留学生のための授業科目について

留学生が履修する授業科目として、日本語科目及び日本事情科目があります。授業科目の履修方法等については所属学部 of 学務担当係に、授業の内容については日本語教育部（国際教育センターS1-3）に問い合わせてください。

（1）日本語科目

日本語科目は、本学で学修するために必要な日本語力を育成する科目として、基本的な日本語力を育成する「実習科目」と、その実習科目を発展させて社会や研究生活に適した思考力・表現力を育成する「演習科目」があります。

すべての留学生は、入学時に「日本語プレイスメントテスト」を受け、日本語力のレベルにより「中級者」と「上級者」に判定されます。

授業科目名		セメスター	単位	履修年次	履修上の注意
実習科目	日本語中級 A	春	1	1 年次	中級者向けクラスであり、上級者は履修できません。 中級者は 1 年次春学期に履修してください。 ※日本語中級 G は 2 限連続授業のため 2 単位です。
	日本語中級 B		1		
	日本語中級 C		1		
	日本語中級 D		1		
	日本語中級 F		1		
	日本語中級 G		2		
	日本語中級 H		1		
	日本語上級 A	春	1	1 年次 ～4 年次	中級者は 1 年次秋学期から履修できます。
	日本語上級 B	秋			
	日本語上級 C	春			
	日本語上級 D	秋			
	日本語上級 E	春			
	日本語上級 F	春			
	日本語上級 H	秋			
	日本語上級 I	秋			
	日本語上級 J	秋			
	日本語上級 K	春			
	日本語上級 L	春			
	日本語上級 M	春			
	日本語上級 N	春			
演習科目	日本語演習 A	春・秋	2	1 年次 ～4 年次	演習科目は 1 年次秋学期から履修できます。
	日本語演習 B	秋			
	日本語演習 C	春			

① 中級者の履修方法

中級者に判定された留学生は、日本語の実習科目のうち、1 年次春学期に「日本語中級」を履修します。日本語力を高め、本学の学修をスムーズに進めるため、できる限り多くの日本語中級クラスの履修を強く奨励します。1 年次秋学期から「日本語上級」を履修します。また、「日本語演習」を履修することもできます。

② 上級者の履修方法

上級者に判定された留学生は、「日本語中級」は履修できません。1 年次春学期から「日本語上級」を履修します。1 年次秋学期以降において「日本語上級」「日本語演習」の履修を奨励します。

③ 演習科目の履修方法

留学生は、1 年次秋学期以降から「日本語演習」を履修できます。ただし、「日本語上級」を履修してからの演習科目の履修を奨励します。

④ 日本語科目の評価方法

日本語科目の評価は、小テスト、プレゼンテーション、中間の課題、セメスター（学期）末の課題（試験またはレポート）などを評価基準としています。評価方法は、各授業科目のシラバスで確認してください。

⑤ 外国語科目との代替措置

日本語科目を履修した場合、外国語科目に代替することができます。詳細は以下のとおりです。

学部	代替できる外国語と単位
教育人間科学部	1 外国語 8 単位以上に読替※
経済学部	1 外国語 12 単位以内に読替
経営学部	日本語実習科目 4 単位、日本語演習科目 2 単位、計 6 単位を英語以外の外国語へ読替※
理工学部	1 外国語へ読替

※教育人間科学部留学生は、教育職員免許状を取得する際は、日本語科目とは別の外国語科目について、それぞれの外国語科目の履修方法に従い、最低 4 単位履修して、合計 8 単位以上とする必要があります。

※経営学部留学生は、他の外国語を履修した場合でも、日本語レベル「上級者」は 6 単位、「中級者」は前述 6 単位に加え「日本語中級」4 単位を履修しなければなりません。

（2）日本事情科目

日本事情科目は、現代科目において開講します。

科目	学期	単位	履修年次
日本事情 日本の舞台芸術	春	2	1 年次～4 年次
日本事情 日本の企業システム	春	2	1 年次～4 年次
日本事情 日本の就職事情	秋	2	1 年次～4 年次

V. 教養教育科目の単位の認定

1. 定期試験について

(1) 定期試験

授業科目の単位は、原則として試験を行った上でその成績により授与されます。

教養教育科目の定期試験は、原則としてターム科目は第8週目に、セメスター科目は第16週目に、筆記試験により行います。なお、セメスター科目の第8週目は通常授業となります。

ただし、授業担当教員によっては、筆記試験とレポートを併用する、あるいは定期試験に代えてレポート等の提出や実技・演習等により行うことがあります。この場合は、指定された提出先へ所定の期間内に提出する必要があります。また、中間試験等を実施することもありますので、所属学部の掲示板やWEBシラバスを確認してください。

定期試験期間

春学期	第1ターム科目 平成30年 6月 1日(金)～ 6月 7日(木) 春セメスター科目／第2ターム科目 平成30年 7月 27日(金)～ 8月 3日(金)
秋学期	第4ターム科目 平成30年11月 26日(月)～11月 30日(金) 秋セメスター科目／第5ターム科目 平成31年 2月 4日(月)～ 2月 12日(火)

※第3ターム(夏季休業期間)、第6ターム(春季休業期間)は別に定める。

(2) 定期試験の時間割発表

教養教育科目における定期試験の時間割発表は、定期試験開始前の2週間前を目途に掲示板により行います。試験時間割(試験教室)は、通常の授業時間割(講義教室)と異なることがありますので掲示板を必ず確認してください。

また、定期試験以外の試験については、授業中において発表し、特に掲示をしないことがありますので注意してください。

2. 定期試験の受験上の注意について

(1) 不正行為

定期試験において、不正行為(身代わり受験やカンニング等)を行い、学則による懲戒処分を受けた学生は、当該学期に履修した授業科目(当該学期に履修登録したセメスター科目及びターム科目)の単位がすべて無効となります。

(2) 学生証の提示

定期試験を受験する際は、必ず学生証を机上に提示してください。学生証を忘れた学生は受験することはできません。学生証の再発行は申請から7日後です。

忘れる、紛失等した場合は、「仮学生証」を発行しますので、所属学部の学務担当係に申し出てください。

(3) 試験室の入室等について

指定された試験室には、試験開始時刻前に入室し、原則として他の学生と隣り合わないよう、横に一人分のスペースを空けて、着席してください。また、科目担当教員により座席指定されている場合には、その指示に従って着席してください。

(4) 定期試験時間中の所持品等について

筆記用具及びあらかじめ許可されたもの以外は、机上に置くことはできません。

定期試験に必要としない所持品（筆箱や下敷きを含む。）等は、かばん等の中に入れ、机の下に置いてください。

特に携帯電話等電子端末は、電源を必ずオフにして、その他の所持品等と同様に、かばん等の中に入れてください。携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。

(5) 遅刻者及び退出者の取り扱い

遅刻した学生は、特別な事情がある場合に限り、試験開始から 20 分までに入室した場合は受験が認められますが、20 分以上遅刻した学生は受験することができません。

また、試験開始から 30 分以上経過するまでは、試験室から途中退出することは認めていません。

(6) その他の注意事項

試験の解答用紙には、学籍番号及び氏名その他必要な事項を明記してください。これらを記入していない答案は、無効となることがありますので注意してください。

定期試験時間中に、試験監督者の指示及び注意事項を遵守しない学生は、退席を命じることがあります。

これらのほか、定期試験の実施要領や受験上の注意事項について、所属学部の履修案内や掲示板を参照してください。

3. 追試験について

(1) 追試験の事由

追試験とは、定期試験を次の（ア）～（エ）に該当する事由により受験できなかった場合は、当該授業科目について追試験の実施を申請することができます。

なお、本学では、再試験（何らかの事情により一度行った定期試験を最初からやり直すこと）は原則として行いません。

（ア）本人の疾病または負傷（医師の診断書を必要とする）

（イ）両親または同居の親族の死亡（事実を確認できる書類を必要とする）

（ウ）交通機関の著しい遅延・運休（事実を証明する書類を必要とする）

（エ）その他、学部長がやむを得ない理由があると認めたとき

(2) 追試験の申請手続き

追試験を申請する場合は、当該定期試験期間終了日の翌日 17 時までに、所属学部の学務担当係まで「追試験申請書」と併せて必要書類を提出してください（E メール申請可、代理人申請可）。

(3) 追試験の実施方法

追試験は、当該定期試験期間終了後、速やかに実施します。

なお、追試験の実施方法は、科目担当教員が指定する方法とします。

4. 授業科目の成績評価について

(1) 成績評価の基準と方法

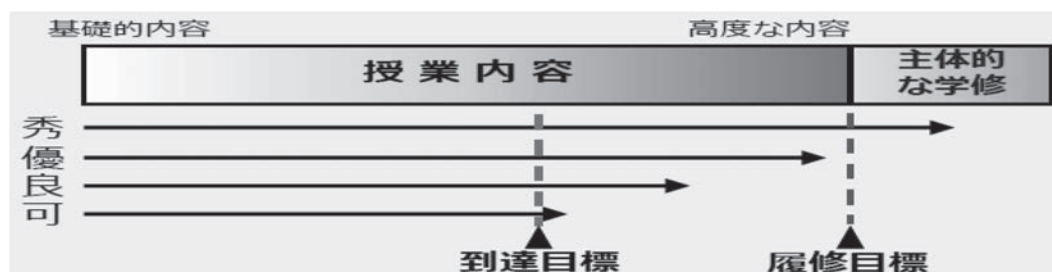
授業科目の成績は、全学統一の成績評価の基準に基づき、WEB シラバスに記載された成績評価の方法によって総合判定し、成績評語（グレード）を「秀・優・良・可・不可」の5段階で表すとともに、それぞれの授業科目の評語に対して GP（Grade Point）を与えます。ただし、5段階の成績評価が難しい授業科目は「合格・不合格」で表すとともに、GP（Grade Point）を与えません。

授業科目の単位は、「秀・優・良・可・合格」を修得した学生に対して授与されます。

成績評価の基準

評語	成績評価の基準	GP	評価点
秀	履修目標を越えたレベルを達成している	4.5	100－90 点
優	履修目標を達成している	4	89－80 点
良	履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している	3	79－70 点
可	到達目標を達成している	2	69－60 点
不可	到達目標を達成していない	0	59－0 点

※評価点はシラバスに記載する「成績評価の基準」によって科目担当教員が算出している点数であり、必ずしも定期試験等の点数と同じではありません。



(2) GPA 制度と卒業要件

本学は GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPA とは、学生が履修した授業科目の成績評価に対する GP（Grade Point）に当該科目の単位数を掛け、その総和を履修登録科目の総単位数で除して算出されます。

GPA 計算式

$$\text{GPA} = \sum (\text{GP} \times \text{単位数}) / \text{履修登録単位数}$$

本学の卒業要件は、学生の所属学部の学科等（学士プログラム）が定める卒業に必要な修得すべき単位数以上の修得要件等に加え、GPA2.0 以上を満たす必要があります。例えば、必要以上に授業科目を履修

し、単位を修得できない場合は、GPA が下がることになりますので、無理がなく十分な学修時間が確保できるよう履修計画をたてる必要があります。

なお、学士プログラムによっては、GPA に算定されない授業科目があります。詳しくは所属学部の履修案内（履修手引）を必ず確認してください。

（３）再履修制度

単位修得した授業科目の再履修は認めていませんが、履修の結果「不可」「不合格」の成績である場合には再履修が認められます。

再履修した場合の成績は、再履修後の成績に置き換えられます。

科目区分	再履修科目
基礎科目（人文社会系）	同一名称の科目を履修すること。 ただし、同一名称の科目が開講されていない場合、同一科目区分（人文社会系・自然科学系・現代科目）の未修得科目の中から自由に選択。
基礎科目（自然科学系）	
現代科目	
総合科目	総合科目の中から自由に選択。
情報リテラシー科目	同一名称の科目を履修すること。
基礎演習科目	
外国語科目	それぞれの科目の履修方法を参照。
健康スポーツ科目	

（４）成績の自己管理

卒業するまでの学業成績、修得単位数と GPA は、学務情報システム及び YNU 学生ポートフォリオにより、成績の自己管理を正確に把握してください。

成績の自己管理を怠っていると、卒業に必要な修得すべき単位数や GPA の修得状況の勘違い等により、卒業できない事態を招きかねませんので十分に確認してください。

（５）成績に関する問い合わせ

教養教育科目の成績に関する問い合わせは、所属学部の学務担当係または学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に申し出てください。なお、成績に関する問い合わせをする際は、個別成績表を必ず持参してください。

Q：GPAは何を目的に導入しているのですか？

A：本学は平成 15 年度入学生から GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。

GPA は、欧米の大学で用いられ始め、今日では発展途上国を含め世界各国に広がっている国際的な成績評価システムです。日本では約 8 割（634）の大学で導入されています（平成 27 年度時点で 85%、文科省調べ）。学生のみなさんにとっての利点は、「YNU 学生ポートフォリオ」とあわせて利用することにより、自分自身で学修成果を把握することが容易になることです。所属学部生の GPA 成績分布図をみることができますので、あなた自身の位置を確認して、「学修意欲の向上」に是非役立ててください。またほとんどの海外の大学において、GPA は留学生を受け入れる際に必要な情報となっており、みなさんの海外留学の促進にも、役立っています。

所属学部の教員やスタッフも、みなさんの学修状況を数値的に把握することで、教育指導の向上を図っています。たとえば学年毎の成績最優秀者の選考では GPA を重視していますので、この点でも勉学・研究の励みの 1 つとして活用してください。

Q：学生が教員の研究室を訪ねていいですか？

A：授業内容について質問があるときは、WEB シラバスや研究者総覧にある連絡先から事前に連絡してから研究室を訪ねてください。

オフィスアワーを設定している教員の場合は、事前の連絡は不要です。

連絡先を公開していない、またオフィスアワーを設定していない教員の場合は、授業後に質問してください。

VI. 学外や海外における授業科目の履修等

1. 修得単位の認定について

(1) 修得単位の認定とは

他大学や大学以外の教育機関等から修得した単位は、所属学部で認定することで、本学における修得単位として認定する制度です。

本制度を利用することにより、関連する専攻分野を深める、あるいは本学にない専攻分野を学ぶなど、学生の幅広い関心と興味に応じた履修の機会が広がります。

(2) 修得単位の認定単位について

修得単位の認定科目は、成績グレード（評語）は「認定」で表し、GP（Grade Point）は与えません。

2. 放送大学・横浜市内大学間単位互換制度の履修について

放送大学・横浜市内大学間単位互換制度とは、放送大学および横浜市内にある 12 の国公立大学が単位互換協定を結び、各大学が提供する授業科目を相互に履修できる制度です。所属学部での承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

本学が他大学履修できる大学は、放送大学、神奈川大学、関東学院大学、國學院大学、鶴見大学、桐蔭横浜大学、東京都市大学、東洋英和女学院大学、フェリス女学院大学、明治学院大学、横浜商科大学、横浜市立大学の 12 大学です。

横浜市内大学間単位互換制度は無料ですが、放送大学は 1 単位 5,500 円です。

横浜市内大学間単位互換制度で履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係または学生センター（学務部教育企画課全学教育係）に問い合わせてください。

3. 派遣留学先の授業科目の認定について

本学は、外国の大学等教育機関と学術交流協定を締結し、学生交流を推進しています。本学の派遣留学生となり、交流協定大学での授業履修により単位を修得した場合は、所属学部の承認に基づき、本学における修得単位として認定されます。

派遣留学により履修できる授業科目、修得できる単位数は所属学部により異なります。事前に所属学部の学務担当係に問い合わせてください。

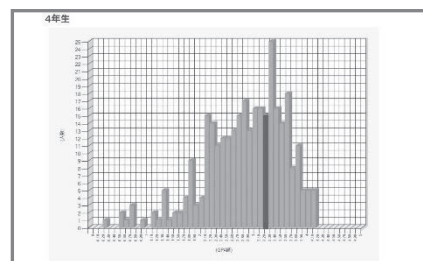
VII. YNU 学生ポートフォリオについて

学務情報システムには「ポートフォリオ」機能があり、4年間の学修や学生生活を記録し、学業の改善や就職活動に活用できます。成績照会機能も併せて振返りに活用してください。

(1) 学生ポートフォリオ関連機能

学務情報システム>ポートフォリオ>ポートフォリオ：自分の成績を確認する画面です。学業を通じての気づきや状況を書き残すことで学期を振り返り、改善することができます。

学務情報システム>履修・成績情報>成績統計：自分の GPA と共に学部全体の GPA 分布図を確認できます。赤いラインが自分の位置を示しており、GPA の向上を目指して次年度の学修計画を立ててください。

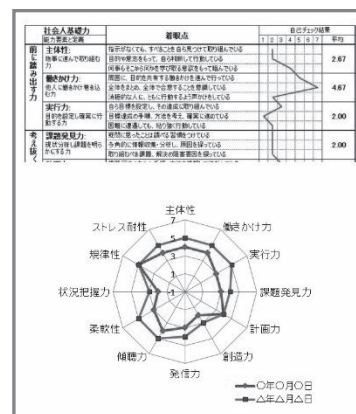


学務情報システム>履修・成績情報>各種語学試験結果：学内で行われる TOEFL-ITP テストの結果を確認できます。スコアの履歴をステップアップの参考にしてください。

(2) キャリアデザインファイル

学務情報システム>ポートフォリオ>キャリアデザイン：学業だけでなく学業以外で頑張ったことや、長期的な目標・将来への考えを記録し、振り返るための画面です。学業の改善だけでなく、就職活動の際にはエントリーシート作成等にも活用できます。

学務情報システム>ポートフォリオ>就業力チェック：就業力（社会人に求められる共通スキル）を自己評価し、数値やグラフで客観的に確認できます。強みを伸ばし、弱みを改善して、自己の成長の指標として活用してください。



The floor plan shows the layout of the building across two floors. The 1st floor (1階) includes a large hall (ホール) with an entrance (出入口) and a staircase (UP) leading to the 2nd floor. There are restrooms (WC) for men (男) and women (女), a projection room (映写室), and two large rooms labeled 101 and 102. The 2nd floor (2階) features a large room labeled 201, a hall (ホール) with two entrances/exits (出入口), a staircase (DN) leading down, and a preparation room (準備室). A compass rose indicates North (N) is towards the top right.

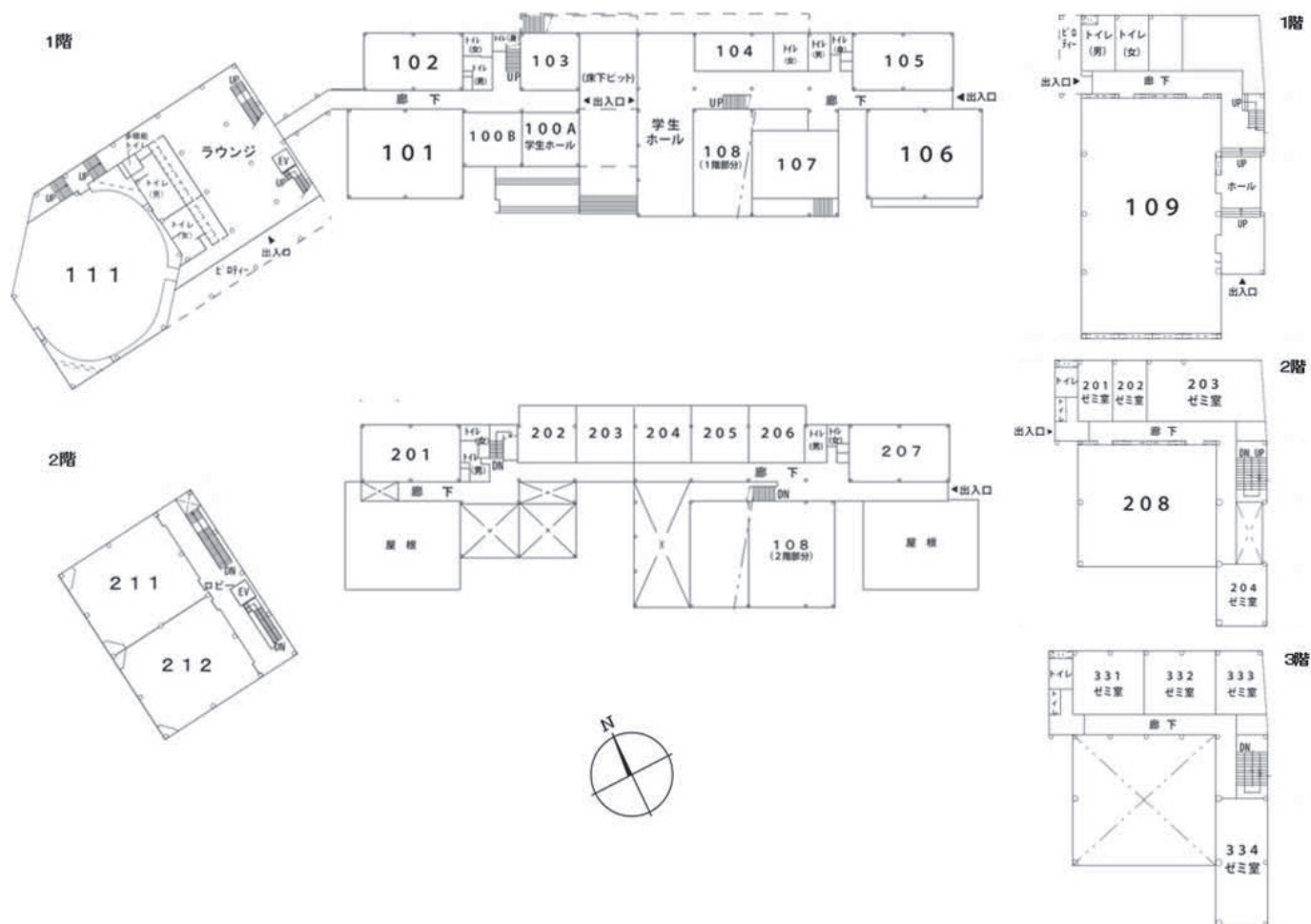
【経済学部・経営学部講義棟】

(経済学部講義棟 2 号館)

(経済学部講義棟 1 号館)

(経営学部講義棟 1 号館)

(経営学部講義棟 2 号館)



情報基盤センター

パソコン教育室 A・B (キャンパスマップ S5-4)

パソコン教育室 C・D (キャンパスマップ S5-2)

パソコン教育室 E・F (キャンパスマップ S5-4)

パソコン教育室 G (キャンパスマップ S3-6)

教育学部

CALL 教室：教育学部第 1 研究棟 2 階 (キャンパスマップ S3-2)

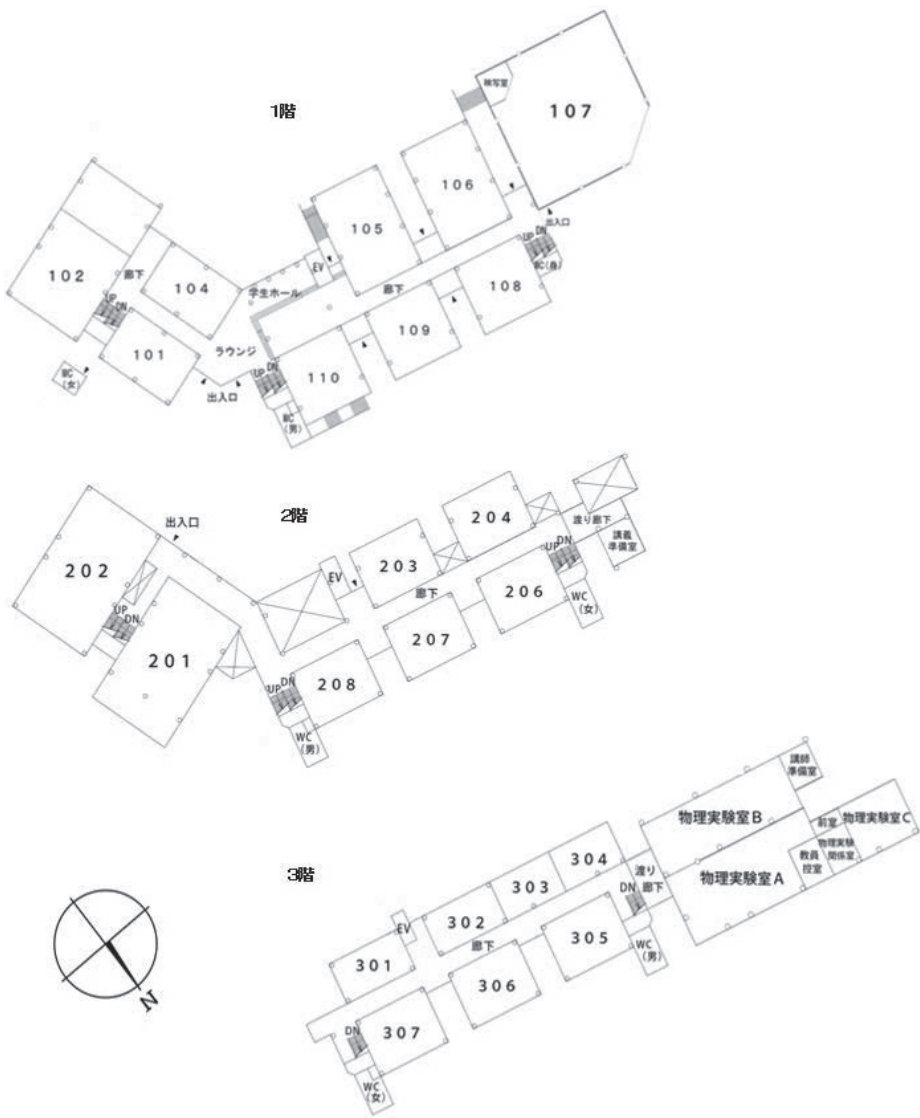
経済学部

経済 PC プラザ：経済学部新研究棟 3 階 (キャンパスマップ N4-4)

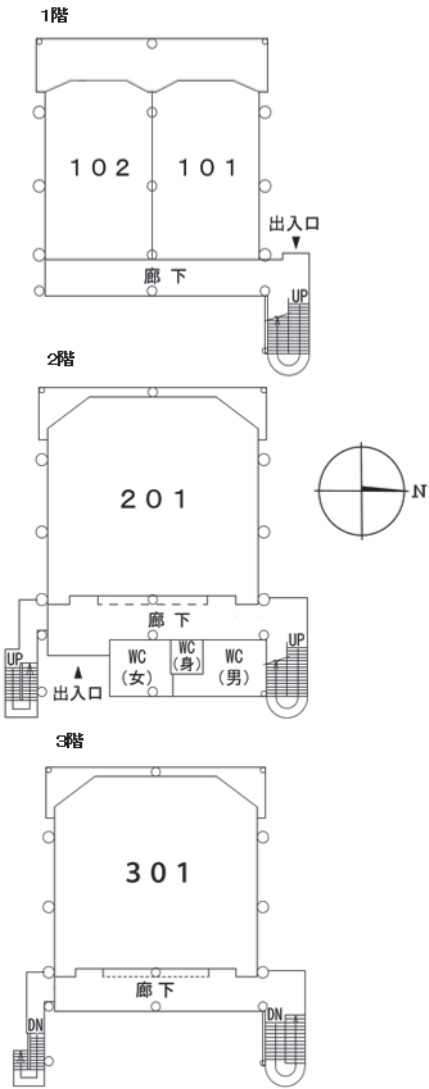
経営学部

経営 PC 教室：経営学部 1 号館 3 階 (キャンパスマップ N3-4)

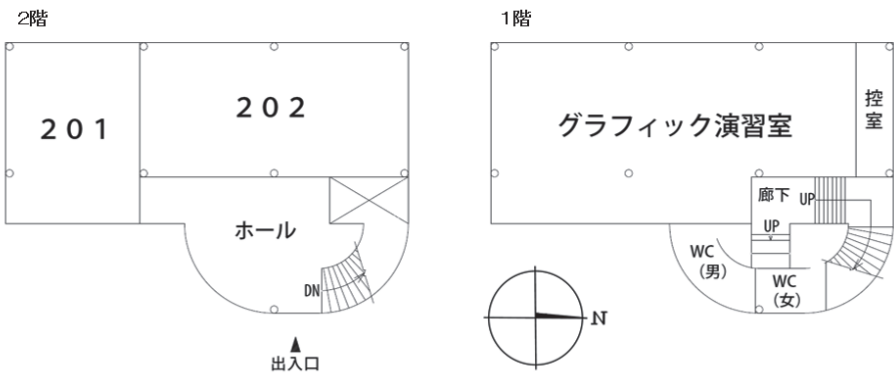
【理工学部講義棟 A・物理実験室】



【理工学部講義棟C】



【理工学部講義棟B】





CAMPUS M A P

横浜国立大学 キャンパスマップ



事務局

- S5** ① 学生センター
1階：保健管理センター、ナビ・ポート
2階：学生支援課、教育企画課、国際教育課、なんでも相談室、障がい学生支援室
3階：キャリア・サポートルーム、免許状更新講習事務室、ハラスメント相談室

教育学部

- S2** ① 教育学部講義棟8号館／都市科学部講義棟
② 教育学部講義棟7号館
2階：化学実験室

- S3** ① 教育学部講義棟6号館
② 教育学部第1研究棟
2階：CALL教室
③ 教育学系事務棟
[学生窓口] 2階
学務第一係

- S4** ① 教育学部5号館 (音楽棟)
② 教育学部4号館 (美術棟)

経済学部

- N4** ① 経済学部1号館
[学生窓口] 1階
経済学務係
② 経済学部講義棟1号館
③ 経済学部講義棟2号館
④ 経済学部新研究棟
3階：経済PCプラザ

経営学部

- N3** ③ 経営学部講義棟2号館
④ 経営学部1号館
[学生窓口] 1階
経営学務係
3階：経営PC教室
⑤ 経営学部講義棟1号館

理工学部

- N8** ④ 理工学系事務棟
[学生窓口] 2階
理工学部教務係
S5 ⑤ 理工学部講義棟A
⑥ 工学基礎研究棟
3階：物理実験室
⑦ 理工学部講義棟A (107)
⑧ 理工学部講義棟B
1階：グラフィック演習室
⑨ 理工学部講義棟C

都市科学部

- N2** ③ 本部西棟
[学生窓口] 2階
都市科学部学務係
S2 ① 教育学部講義棟8号館／都市科学部講義棟

附属図書館

- S3** ⑥ 中央図書館
PC教育室G
S7 ③ 理工学系研究図書館



全学教育研究施設等

- N4** ① 地域実践教育研究センター
S1 ② 教育文化ホール
③ 国際教育センター
S5 ② 情報基盤センター別館、高大接続・全学教育推進センター
PC教育室C・D
④ 情報基盤センター
PC教育室A・B・E・F

厚生施設

- N10** ④ Sガーデン (カフェテリア、コンビニエンスストア)
⑤ 第2食堂、大学生協
S1 ④ 第1食堂 (れんが館)
⑤ 大学会館、大学生協本部

運動・課外活動施設

- S0** ① 体育サークル会館
② 運動場管理棟
S1 ⑥ 文化サークル共用施設
⑦ 体育館・武道館
⑧ 弓道場射場

YNU的 海外志向のすすめ。

海外経験は単に語学力を磨くだけでなく、グローバル化する世界を生き抜くためのスキルを身に付けることができます。海外での様々な体験を通して、自分のキャリアと未来のためのあらゆるつながりを形成する貴重な機会となります。YNUは海外を志向する学生の皆さんを様々な形で応援しています。

英語で授業を受ける 留学生と授業を受ける

グローバル教育科目

留学生と一緒に英語による授業を受けて学内留学を体験。科目を揃えて副専攻プログラム修了証書も入手しましょう。世界事情を学べる科目も多数あります。



まずは
気楽に参加
してみよう！



留学生を支援する

日本語サポーターバンク

国際教育センターの日本語クラスをのぞいてみませんか。「時間のある時に留学生の日本語会話の相手になりたい」「留学生と交流経験がないので、在学中に機会を作りたい」など、どんな動機でも歓迎です。一回限りの参加でも、英語に自信がなくても大丈夫です。

▶ <http://www.isc.ynu.ac.jp/support/bank/>

大学の国際的活動をサポートする

学生国際ボランティア

学生国際ボランティアは、学生の立場や視点から大学の国際的活動をサポートする大学公認ボランティアグループです。現在20名の日本人学生および留学生が活動しています。大学の更なる国際化のために、一緒に活動してくれる学生を今年度も募集します！詳細は大学サイトにて。

▶ <http://www.ynu.ac.jp/campus/support/volunteer/international.html>

国際交流メールマガジン Global Campus

登録を希望する学生は YNU ネットアドレスのアカウント (@ynu.jp) から、件名に「Global Campus 登録希望」と記載し、空メールを kokusai.shien@ynu.ac.jp まで送ってください。

なお、YNU ネットアドレス以外からの登録は受けませんのでご注意ください。

▶ <http://www.ynu.ac.jp/international/globalcampus/>



多言語で話す 留学生と交流する

多言語トークタイム

毎週火曜昼休み@学生センターロビー

外国人留学生と日本人学生が昼食を取りながら気軽に色々なトピックについて多言語で自由に話し合う「トークタイム」。トピックは様々で、外国人留学生との交流を深め、英語でディスカッションをする練習にもなります。誰でも自由に参加できます。

YNUの 学内留学

学生による留学および留学生支援活動も活発に行われています

留学生を支援する 留学生と交流する

国際教育センター 105

(国際戦略推進機構長公認組織)

平日 11:30 ~ 14:30
@国際教育センター 2階

国際教育センター交流・相談室 105 では、日々の活動の他、学生スタッフが留学生と一般学生の交流イベント（ウェルカムパーティー、交流宿泊、BBQ パーティー等）を定期的に開催しています。

▶ <http://ynu-isc-room105.jimdo.com/>



メーリングリストに登録しておく、留学・国際交流関連情報をメールマガジンで受信することができます。

YNUの留学バックアップ

▶ まずは気楽に参加してみよう

学内留学

▶ 留学に関する情報をキャッチしよう
国際交流メールマガジン
Global Campus

▶ 迷っているならイベントに参加！

海外留学説明会

インターナショナル・ウィーク

▶ さまざまな留学のカタチがあります

YNUのサポートする海外派遣

留学生と交流する 留学生を支援する

チューター制度

留学生に対して、日本人学生がチューターとして生活や勉強の手助けを行う制度です。来日直後のサポートのほか、日常の学習（日本語、専門科目）に関する手伝いや日常生活に関する手伝いをします。チューターになりたい時は、各部局の留学生担当の先生や指導教員の先生にそのことを伝えてみてください。

YNUでは、世界76か国・地域から留学生を受け入れており、本学の全学生のうち留学生が占める割合は約10%と大変高い比率となっています(2017.11.1 現在)。中国、韓国、ベトナムのほか、マラウイ、モザンビーク、トンガ、ハイチなど様々な国・地域からの留学生がYNUで学んでいます。

留学生の受入状況は、ウェブサイトで確認できます。

▶ <http://www.ynu.ac.jp/international/accept/circumstance.html>



留学生を支援する 留学生と交流する

ISL (International Students Lounge)

(国際戦略推進機構長公認組織)

月・火・水・金 / 12:10 ~ 12:50
@ローソン内

ISLは主として理工系の留学生支援を目的に活動をしています。日常で困ったことへの対応、イベントの開催などです。

学生スタッフも募集中です。

詳しくは下記サイトにて！

▶ <http://ynu-isc-isl2015.jimdo.com/>

留学準備を行う



En II (国際戦略推進機構長公認組織)

留学準備・支援を行っています。

留学生と交流する 留学生を支援する

『留学生との交流ハンドブック』

留学生と話してみたい、留学生と友達になりたいという学生は、『留学生との交流ハンドブック』を読んでみよう！

▶ http://www.isc.ynu.ac.jp/support/pdf/handbook_1.pdf



横浜国立大学 副専攻プログラム

地域交流科目

2018

オリエンテーション

4/16 (月), 4/19 (木), 4/20 (金)

昼休み・中央図書館メディアホール

YOKOHAMA

コア科目A: 「地域連携と都市再生A」
(ヨコハマ地域学)

初回講義 : 4/9 (月) 5限

「修了証」の取得

実践力をつける
「地域課題実習Ⅰ・Ⅱ」

2単位

専門力を養う
選択必修科目

4単位

各専門領域を超えて広い視野を養う

地域交流コア科目

「地域連携と都市再生A・B」

4単位

グローバルな視野をもって地域課題を解決する
先端的かつ複合的な**実践能力を身につける**プログラム

コア科目

地域連携と都市再生A
(ヨコハマ地域学)

春学期・月5限

コア科目B 地域連携と都市再生B
(かながわ地域学)

秋学期・火2限

地域課題実習

モビリティ・デザインの実践

かながわ里山探検隊

かながわ ニューツーリズム

データで捉える地域課題・地域経済

ローカルなマテリアルのデザイン

まちに開いた交流の場のデザイン
ー住宅地の価値を上げるー

横浜で屋台まちづくりを考える -ハマヤタイプロジェクト-

New - New Townを考える -郊外まちづくりプロジェクト-

シェアハウスのデザイン
ー欲しいすまいを自分でつくるー

おおたクリエイティブタウン研究PJ
(モノづくりのまちづくりを考える)

市民活動を体験して考える 協働型まちづくり
プロジェクト

みなとまちプロジェクト

都市の自然を楽しむライフスタイル

商店街とまちを繋ぎ、子どもと大人がコミュニケーションを
多くとれるまち - 上星川プロジェクト -

横浜「うみみらい」プロジェクト

現代世界の課題の探索と協力の実践
ーネパール支援プロジェクトー

横浜国立大学 地域実践教育研究センター
YNU Global-Local Education and Research Center

詳しい情報はオリエンテーションor HPから：検索

地域実践センター

<http://www.chiki-ct.ynu.ac.jp>

学びの可能性、広がる。

平成30年度秋学期、放送大学の授業が200科目分無料で受講できます！※
(平成30年度卒業予定者除く)

※1人で複数科目無料で受講できる場合もあります

放送大学の授業なら、テレビ、ラジオ、インターネットを使って、
いつでも学べる！

たとえば、授業の合間だったり、短期集中だったり、好きなように受講できます
どこでも学べる！

たとえば、自分の家でも、外出先でも、好きなように受講できます

200科目

無料

放送大学
×
YNU

●スケジュール（予定）

平成30年6月中旬～下旬 出願受付開始

平成30年10月1日 授業開始

平成31年1月22日～2月2日 単位認定試験

※詳細は別途掲示します



問い合わせ先: 学生センター 教育企画課全学教育係 (CAMPUS MAP S5-①)